

# 平成25年度 第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

と き：平成25年7月22日（月）  
9時30分～

ところ：宇都宮市役所14A会議室

---

## 次 第

---

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 生涯学習センター運営審議会について・・・・・・・・・・資料1

5 正副委員長選出・・・・・・・・・・資料2

6 議 事・・・・・・・・・・資料3

（1） 今年度の生涯学習センター運営審議会の審議内容について

（2） 宇都宮市生涯学習センターについて

（3） 平成24年度生涯学習センター事業運営の評価について

（4） 各種協議会への委員の推薦等について

7 そ の 他

8 閉 会

## 宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員

No.	氏 名	役職名等（選出生涯学習センター）
1	おおや やすひろ 大矢 裕啓	中央地区体育協会理事（中央生涯学習センター）
2	たけうち りつ 竹内 律	陽東地区まちづくり協議会事務局長（東生涯学習センター）
3	いとう しょういち 伊藤 昭一	宇都宮市生涯学習コーディネーター（東生涯学習センター）
4	はしもと かつこ 橋本 克子	富士見地域富士見婦人会会長（西生涯学習センター）
5	なかやま ひろし 中山 弘	陽光地区連合自治会会長（南生涯学習センター）
6	みやもと はるひさ 宮本 明尚	細谷小学校地域協議会委員（北生涯学習センター）
7	よしだ おさむ 吉田 治	平石地区まちづくり協議会会長（平石生涯学習センター）
8	のぎき えいぞう 野崎 栄三	城山地区コミュニティ協議会会長（城山生涯学習センター）
9	うがじん もとみ 宇賀神 源泉	雀宮地区自治会連合会会長（雀宮生涯学習センター）
10	さかもと のぼる 坂本 登	豊郷地区連合自治会会長（豊郷生涯学習センター）
11	あかさか せつこ 赤坂 節子	民生委員・児童委員（河内生涯学習センター）
12	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	中央生涯学習センター利用団体代表（中央生涯学習センター）
13	もりの みつる 森野 満	南生涯学習センター利用者連絡協議会会長（南生涯学習センター）
14	くぼい ようこ 久保井 陽子	上河内生涯学習センター利用団体代表（上河内生涯学習センター）
15	さいとう えみこ 齋藤 恵美子	宇都宮市立姿川第二小学校長（小学校長会）
16	かたぎり あきら 片桐 晃	宇都宮市立姿川中学校長（中学校長会）
17	いの たかみち 飯野 貴道	宇都宮青年会議所理事
18	ますぶち ゆきお 増渕 幸男	大学講師
19	きし しんすけ 岸 伸輔	公募委員
20	うがじん みつお 宇賀神 光夫	公募委員

# 宇都宮市生涯学習センター運営審議会について

## 1 審議会の役割について

当審議会は、社会教育法第29条に基づく公民館運営審議会として、生涯学習センター事業の企画実施等について調査審議していただく機関です。

生涯学習センターの運営等に対していただいたさまざまな助言・提言を貴重な市民の声、または新たな知見として生涯学習センターの事業運営に役立てております。

## 2 審議会について

### (1) 委員構成

委員定数 20名

【内訳】① 社会教育関係委員

ア 生涯学習センター代表委員 11名

イ 生涯学習センター利用団体代表委員 3名

② 学校教育関係委員 2名

③ 学識経験委員 2名

④ 公募委員 2名

### (2) 任期

2年（平成25年6月1日～平成27年5月31日まで）

### (3) 主な協議事項

- ・生涯学習センター事業運営の考え方について
- ・生涯学習センター事業計画について
- ・生涯学習センターの運営等について
- ・生涯学習センターの課題に対する解決方策についてなど

## 【社会教育法】（抜粋）

（公民館運営審議会）

第二十九条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第三十条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市長村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準、定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は、当該市町村の条例で定める。この場合において、委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

### 公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準（概要）

社会教育法第三十条第二項の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

## 【宇都宮市生涯学習センター条例】（抜粋）

（宇都宮市生涯学習センター運営審議会）

第11条 法第29条第1項の規定に基づく公民館運営審議会として、宇都宮市中央生涯学習センターに宇都宮市生涯学習センター運営審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

2 審議会の委員（以下「委員」という。）は、次の各号に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 社会教育の関係者
- (2) 学校教育の関係者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認める者

3 審議会は、委員25人以内をもって組織する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 前3項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

## 【宇都宮市生涯学習センター条例施行規則】（抜粋）

（宇都宮市生涯学習センター運営審議会の委員長及び副委員長）

第8条 宇都宮市生涯学習センター運営審議会（以下「審議会」という。）に、委員長及び副委員長を置き、委員がこれを互選する。

2 委員長及び副委員長の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員長及び副委員長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員長は、審議会の所掌事務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（審議会の会議）

第9条 審議会の会議は、委員長が招集する。

2 審議会は、委員定数の過半数の委員の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

## 正副委員長の選出について

宇都宮市生涯学習センター条例施行規則第8条の規定に基づき、委員長及び副委員長を選出するもの

委員長

---

副委員長

---

## 議 事

- (1) 今年度の生涯学習センター運営審議会の審議内容について
- (2) 宇都宮市生涯学習センターについて
- (3) 平成24年度生涯学習センター事業運営の評価について
- (4) 各種協議会への委員の推薦等について

今年度の生涯学習センター運営審議会の審議内容について

1 今年度の主な案件について

(1) 平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方について

次年度の事業計画を策定するにあたって、センター事業の実績や評価などを踏まえ、平成26年度の生涯学習センター事業運営の考え方について審議、決定する。

(2) 平成26年度生涯学習センター事業計画について

生涯学習センター事業運営の考え方に基づき、各生涯学習センターが企画した平成26年度のセンター事業計画について意見を聴取する。

2 今年度の会議開催スケジュールと議事について

第1回 平成25年7月22日（今回）

第2回 平成25年10月（予定）

- (1) 平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方について
- (2) 平成26年宇都宮市成人式について
- (3) 平成26年度生涯学習センター文化祭について

第3回 平成26年3月（予定）

- (1) 平成26年度生涯学習センター事業計画について
- (2) その他、年度内に実施した事業の報告等

3 その他

生涯学習センターの企画・運営に関する課題の解決方策等について適宜、意見聴取する。

- 新規の受講者や若年層の受講者を呼び込む方策の検討
- 地域がかかえる課題に対応した事業の実施
- 受講者の仲間づくりや地域活動につながる参加学習型講座の充実

平成25年度

宇都宮市生涯学習センター



# 目 次

◎第2次宇都宮市地域教育推進計画(うつのみや地域教育プラン) .....	1
◎地域教育の推進について .....	3
1 生涯学習センターの役割 .....	9
2 生涯学習センターの体制 .....	10
3 生涯学習センターの分担事務 .....	12
4 生涯学習センター施設概要 .....	13
5 生涯学習センターの沿革 .....	17
6 平成25年度生涯学習センター事業運営の考え方 .....	19
7 中央生涯学習センター .....	21
8 東生涯学習センター .....	23
9 西生涯学習センター .....	25
10 南生涯学習センター .....	27
11 北生涯学習センター .....	29
12 平石生涯学習センター .....	31
13 清原生涯学習センター .....	33
14 横川生涯学習センター .....	35
15 瑞穂野生涯学習センター .....	37
16 城山生涯学習センター .....	39
17 国本生涯学習センター .....	41
18 富屋生涯学習センター .....	43
19 豊郷生涯学習センター .....	45
20 篠井生涯学習センター .....	47
21 姿川生涯学習センター .....	49
22 雀宮生涯学習センター .....	51
23 上河内生涯学習センター .....	53
24 河内生涯学習センター .....	55

## 第2次宇都宮市地域教育推進計画（うつのみや地域教育プラン）

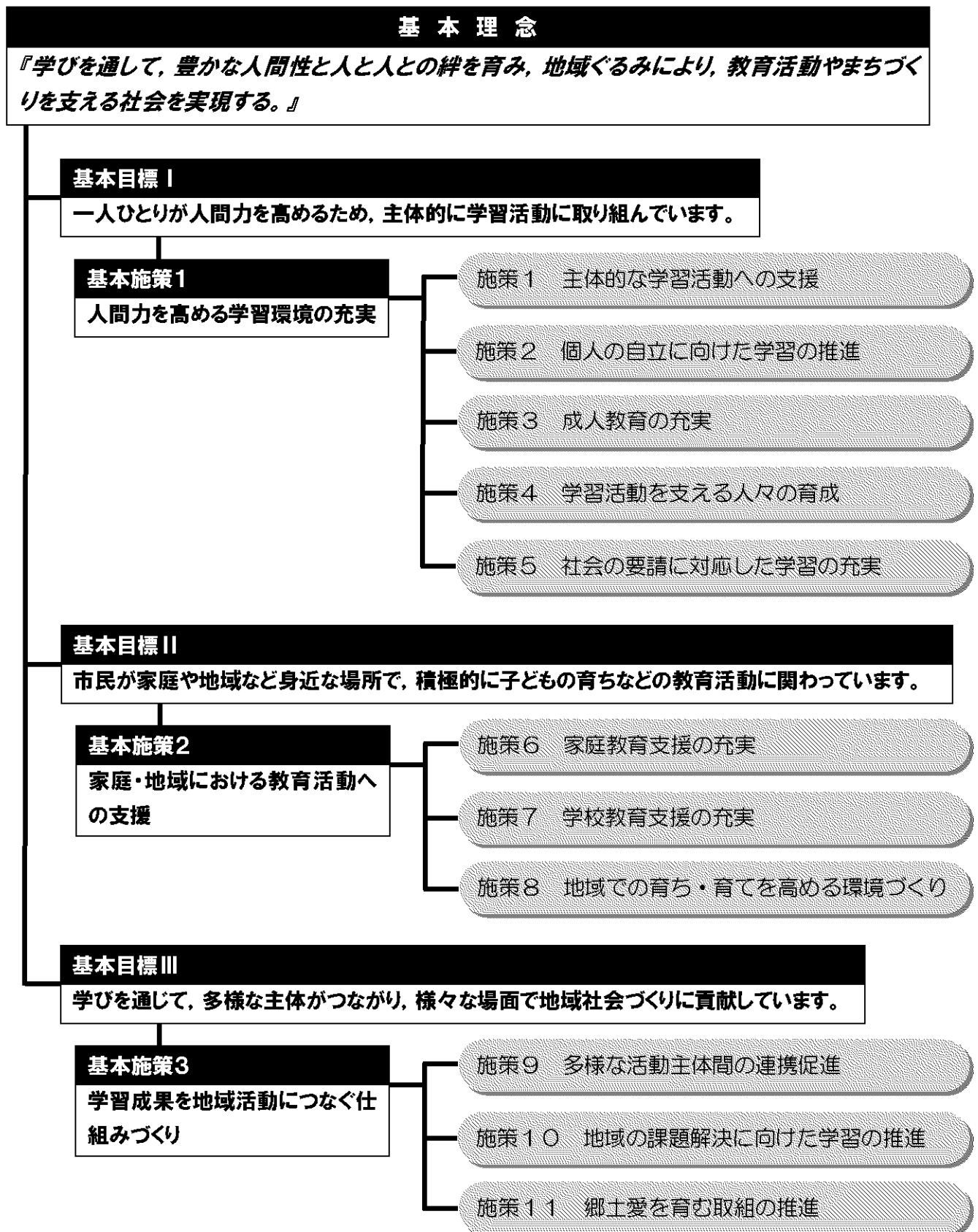
### ○ これまでの計画の特徴

- ・ 「第1次宇都宮市生涯学習推進計画」（平成2年度～平成12年度）  
⇒ 生涯学習の基盤整備（施設整備，学習機会拡充，情報提供）
- ・ 「第2次宇都宮市生涯学習推進計画」（平成13年度～平成22年度）  
⇒ 生涯学習の環境整備（学ぶ環境，生かす環境，つなぐネットワーク）
- ・ 「宇都宮市地域教育推進計画（第3次宇都宮市生涯学習推進計画）」  
（平成20年度～平成24年度）  
⇒ 「個人」のための学習支援から「社会」をつくる人づくりへ  
（人間力の向上，家庭・地域の教育力の向上，主体的な学習活動の支援）

### 【第2次宇都宮市地域教育推進計画（うつのみや地域教育プラン）の概要】

計画の期間	5年間（平成25年度～平成29年度）
基本理念	学びを通して，豊かな人間性と人と人の絆を育み，地域ぐるみにより，教育活動やまちづくりを支える社会を実現する。
基本目標①	一人ひとりが人間力を高めるため，主体的に学習活動に取り組んでいます。（人づくり） 〔基本指標〕 学習活動をしている市民の割合 43.2%（H23） ⇒ 48.4%（H29）
基本目標②	市民が家庭や地域など身近な場所で，積極的に子どもの育ちなどの教育活動に関わっています。（絆づくり） 〔基本指標〕 放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数 14,716人（H23） ⇒ 37,438人（H29）
基本目標③	学びを通じて，多様な主体がつながり，様々な場面で地域社会づくりに貢献しています。（地域づくり） 〔基本指標〕 地域活動やボランティア活動に参加している市民の割合 56.6%（H23） ⇒ 60.0%（H29）
基本施策	1 人間力を高める学習環境の充実 2 家庭・地域における教育活動への支援 3 学習成果を地域活動につなぐ仕組みづくり

○ 計画の体系



## 地域教育の推進について

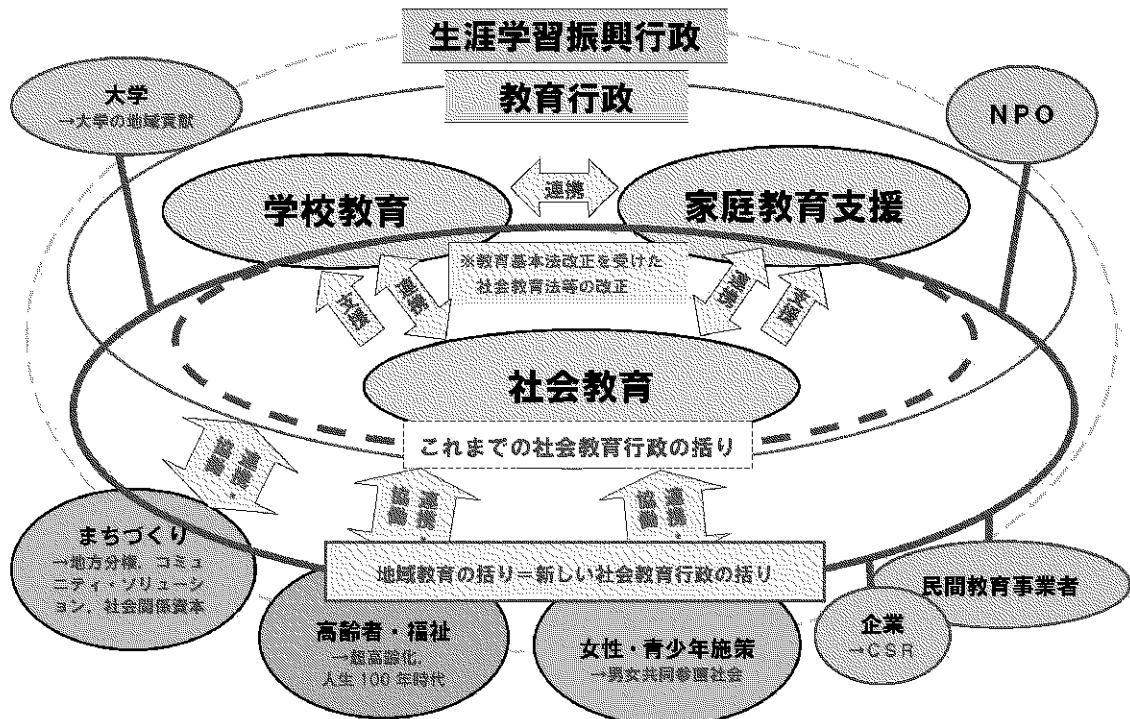
### (1) 地域教育の推進

社会構造の急速な変化、低迷する経済による閉塞感や、人々の価値観やライフスタイルの急激な変化などを背景に、生涯学習へのニーズもますます多様化してきている。

一方では、退職前後の成熟期、円熟期の世代の地域におけるまちづくり活動への参加や、東日本大震災後の社会貢献意欲の高まりなど、地方分権の流れの中で地域自治を主体的に市民が支えていくための人づくりや人と人、学習と活動をつなぐ仕組みづくりが求められてきている。

国では、これまで示してきた「個人の要望と社会の要請のバランスの確保」「公共の課題に取り組む社会教育の振興」「地域社会で活躍する人材の育成」などの考えに加え、平成25年3月に中央教育審議会生涯学習分科会が公表した「議論の整理」において、現代的・社会的な課題等の学習機会の提供に当たっては、「社会教育行政」の担当部局と関係行政部局との連携・協働が重要であるとし、「社会教育行政」が取り組む範囲が拡大されたところである。

市でも、従来の「社会教育行政」の領域を越えた範囲を、「地域教育」として取り組んできたところであり、引き続きこうした流れを踏まえ、平成25年3月に策定された「第2次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、学びを通して豊かな人間性と人と人との絆を育み、地域ぐるみにより、教育活動やまちづくりを支える社会の実現に向け、生涯学習センター等への支援や人材育成の拠点である「人材かがやきセンター」の事業の充実など、地域教育活動の促進や地域人材の育成に積極的に取り組むとともに、学習活動とその成果を地域活動につなぐ仕組みを構築し、「地域で学び、学んだ人が地域をつくる」地域教育のより一層の推進を図っていく。



【図】 地域教育と新しい社会教育行政の関係

## ア 地域教育推進体制の整備

### (ア) 体制整備の目的

- ・ 生涯学習に関する市民の意識や活動が活発化する中、学んだ成果を発揮して、地域に貢献できるような人材を育成する。
- ・ 地域に貢献できる人材を育成していく「地域教育」（地域で学ぶ，地域で育てる，地域をつくる，地域ぐるみの教育）を着実に推進していく。

### (イ) 体制整備の内容（H22.4～）

- ・ 18生涯学習センターの講座予算を50款で一括計上するなど、生涯学習課の本課機能の集約・強化を図り、全ての生涯学習センター（18館）を統括・支援する。
- ・ 中央，東，西，南，北の生涯学習センターを市民活動センター併設館とし、まちづくり支援担当職員（生涯学習センター職員兼務）を配置することで、人づくりとまちづくりの一体的推進を図る。
- ・ 生涯学習課内に地域に貢献できる人材の育成を目的とした地域人材育成グループを新たに設置し、指導者育成，関係職員研修，全市的・先導的事業の実施，プログラム開発，調査研究等を行う「地域教育推進センター機能」を付加する。
- ・ 全ての生涯学習センター（18館）においては、本課の方針等もふまえ、地域の実情に応じた事業展開や人づくり事業を実施する。

## イ 地域かがやきプロジェクト（CKP）

- ・ 地域教育や地域の困りごとなどについて、地域住民が改めて考え、取り組みのきっかけになるような機会を創出するため、活動と学習の循環の考え方を構築し、各生涯学習センターを拠点として「地域かがやきプロジェクト」を展開している。（平成24年度 3センター3事業）

※【図】活動と学習の循環（CKPサイクル）・・・8ページ

## ウ 人材かがやきセンター

### (ア) 機能概要

- ・ 市民やボランティアなど多くの方が、学び，集い，情報交換や仲間づくりができるひとづくりの拠点とし、「人材かがやきセンター」の『愛称』で、事業を実施している。

※ 事務室（中央生涯学習センター4階），研修室（同5階）

- ・ 地域や家庭，学校などを場に活動している方や，これから活動したいと考えている方などに，それぞれの関心や活動レベルに合った講座や研修を体系的に実施するほか，全市的なモデル事業，高等教育機関との連携による調査研究，学習プログラムの開発・提供などを行うことにより，地域教育（家庭教育含む）の効果的な推進を図る。

(イ) 主な事業

機 能	事 業 内 容
地域教育のリーダーとなる指導者の養成・研修機能	<b>研修事業</b> （関係職員や団体指導者などへの専門的研修等） ・生涯学習担当職員研修 ・青少年指導者支援研修 ・社会教育主事ステップアップ研修
	<b>人材育成事業</b> （地域に貢献できる人材の育成等） ・生涯学習コーディネーター養成講座 ・家庭教育サポーター養成講座 ・学校支援ボランティア養成講座
市民の地域教育活動を促進する全市的・先駆的機能	<b>学習機会提供事業</b> （広域的事業，モデル事業，交流機会創出等） ・主催講座 ・市民大学 ・親学出前講座 ・親学出前講座 ・地域教育メッセ ・地域教育出前講座 等
	<b>情報提供事業</b> （情報提供システムの運用，周知広報等） ・生涯学習情報提供システムの運用
	<b>学習相談事業</b> （学習相談窓口開設等） ・学習相談窓口開設
新たな学習プログラムの開発・調査研究機能	<b>調査研究事業</b> （高等教育機関との共同研究等） ・生涯学習課の政策立案に係る事前調査 ・高等教育機関との共同研究 ・新たな学習プログラムの研究・開発

(ウ) 人材かがやきセンター事業（講座）の体系区分

区 分	内 容
地域教育区分	①社会教育（※②・③を除く主に成人教育及び青少年教育） ②家庭教育支援，③学校教育支援・連携
年 齢 層	①幼少期（～14歳），②青年期（15歳～20代），③壮年期（30～40代）， ④成熟期（50～60代），⑤円熟期（70代～）
活動レベル	①グリーティング（興味がある），②スターティング（始めたばかり）， ③ステップアップ（活動中），④リーダー養成（指導者を旨す）， ⑤エキスパート支援（指導者）

(工) 事業実績等

- ・ 平成22年度事業実績  
講座数 7講座  
受講者数 172名
- ・ 平成23年度事業実績  
講座数 15講座  
受講者数 564名
- ・ 平成24年度事業実績  
講座数 10講座  
受講者数 288名

## エ 平成25年度人材かがやきセンター主催講座（予定）

平成25年度については、第2次宇都宮市地域教育推進計画に基づき、一人ひとりの人間力を高めるための講座、社会の要請に対応した講座、小中一貫教育と地域学校園に係る講座など、市民が自分の関心や活動レベルに応じた学びにつながる講座を体系的に実施する。

また、各種関係機関や高等教育機関との連携・協力を図りながら、先駆的な学習プログラムの開発・提供を行うことにより、地域教育の効果的な推進に努めていく。

実施区分	講座名	講座概要	実施時期	体系区分※		
				地域教育区分	年齢層	活動レベル
①社会教育(※②③を除く主に成人教育及び青少年教育)	1 先人の生き方に学ぶ大人の道徳時間 ～没後100年 田中正造の行動とその思想に学ぶ～ (全3回)	地域活動をしている方や興味のある方を対象に、人間力を高めるために、本県出身の偉人である田中正造の生き方や思想を学び、自分の生活や地域社会の中でどのように生かせるかを考える講座	前期 5月	①	③ ④ ⑤	① ②
	2 ガマンしない！モヤモヤしない！ ～さわやかな自己表現をめざして～ (全3回)	地域活動をしている方や興味のある方を対象に、対人場面における自らの思考パターンを理解しながら、相手も自分も大切に自己表現について学び、人間関係構築力の向上を図る講座	前期 8月	①	③ ④ ⑤	① ② ③
	3 より良く生きる!! ～シニアの「縁活」はじめませんか～ (全3回)	シニア世代を対象に、今までの自分の生き方を見つめ直すとともに、地域における新たな縁づくりや、実際の活動事例などを学び、今後のより良い生き方について考えることを通して地域社会における貢献活動への参加に繋げる講座	前期 7月	①	④ ⑤	① ②
	4 現代版「井戸端会議」から始まる地域の絆 (全3回)	地域活動をしている方や興味のある方を対象に、江戸庶民の長屋における助け合いや会津藩の「仕」の教えなどを学び、地域コミュニティのあり方を考察しながら、その再構築に繋げていく講座	前期 9月	①	③ ④ ⑤	① ②
	5 「官の朝活」はじめます！ (全5回)	日頃、講座を受講しにくいライフスタイル世代の若手ビジネスマンや就職を控えた学生などを対象に、「朝活」という形で学習機会を提供し、生涯学習への関心を高めるとともに、参加者の自主的な生涯学習活動へと繋げていく教養講座	前期 6月	②	② ③	① ②
②家庭教育支援	6 親力向上講座 (全3回)	乳幼児をもつ保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた子どもとの関わり方など、家庭教育の課題への対応について学び、親力の向上を図る講座	後期 10月	③	② ③	①
	7 家庭教育サポーター養成講座 (全4回)	家庭教育支援に興味のある方を対象に、主に就学前の子どもを持つ保護者に対する地域のボランティアとしての支援について学び、社会全体で子育て中の親を支える取組の充実を図る講座	後期 11月	③	④ ⑤	① ② ③
③学校教育支援・連携	8 思春期の心を受け入れる ～さまざまな事例をもとに～ (全1回)	主に思春期の子を持つ保護者を対象に、思春期の子どもが置かれている現状を知り、事例をもとに親子関係や地域の大人としてのかかわり方を改めて見直すとともに、子どもの自立への支援について考える講座	後期 7月	③ ④	③ ④ ⑤	① ② ③
	9 中一ギャップは怖くない ～そのとき親が地域ができること～ (全2回)	子どもの中学校入学を控え、親として不安に感じていることが多いと思われる小6保護者を主な対象とし、「中1ギャップ」に関する事例等から、親としての心構えや対応について学び、思春期の子どもの健やかな成長を支援する講座	後期 2月	③ ④	③ ④ ⑤	① ② ③

※ 体系区分

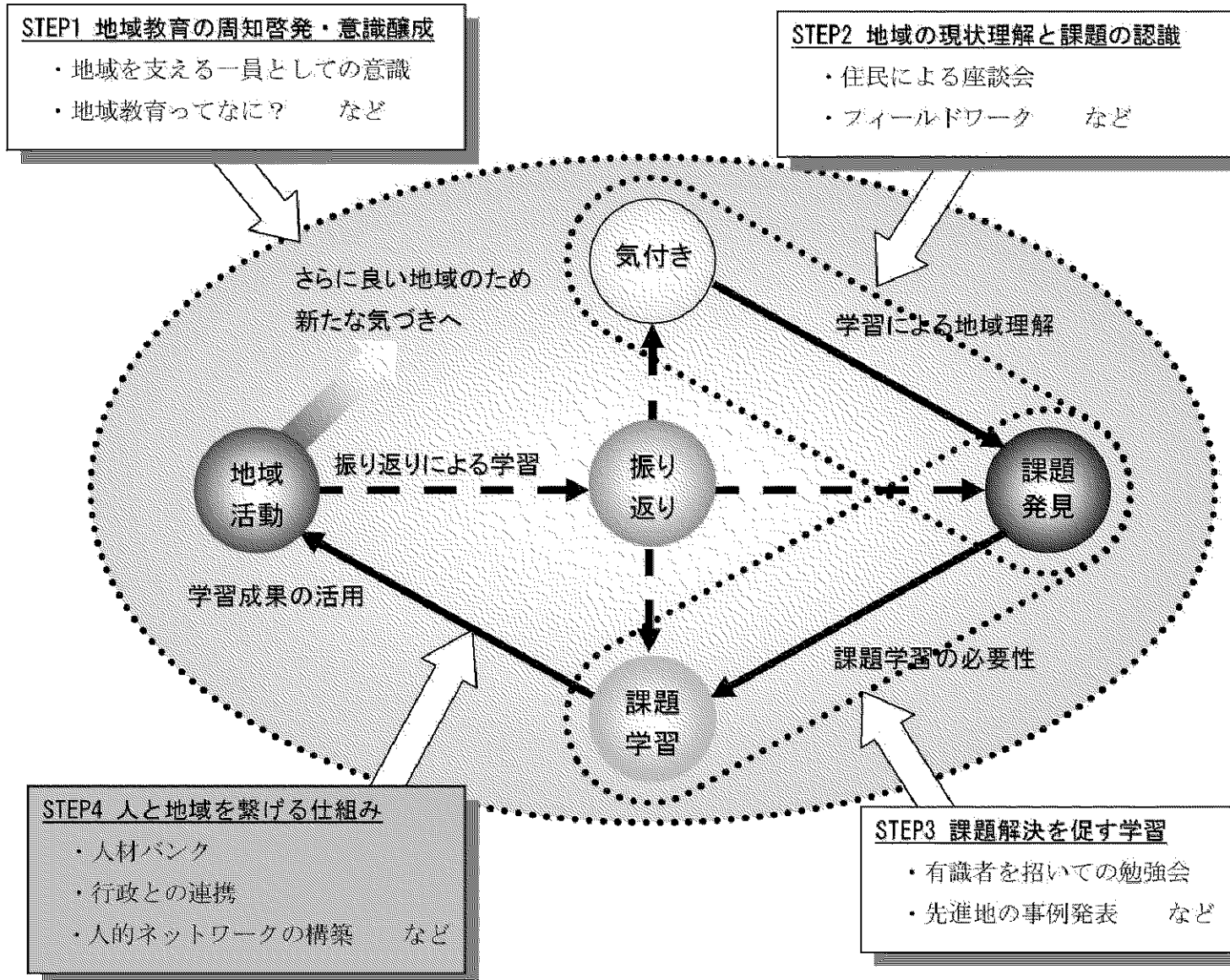
[地域教育区分] ①社会教育(※②・③を除く主に成人教育及び青少年教育)、②家庭教育支援、③学校教育支援・連携

[年齢層] ①幼少期(～14歳)、②青年期(15歳～20代)、③壮年期(30～40代)、④成熟期(50～60代)、⑤円熟期(70代～)

[活動レベル] ①グリーティング(興味がある)、②スターティング(始めたばかり)、③ステップアップ(活動中)



【図】 活動と学習の循環（CKPサイクル）



## 1 生涯学習センターの役割

市の「第5次総合計画」及び「地域教育推進計画」の方針に基づき、生涯学習を通じた人づくりを推進し社会に貢献する人材を育成するため、市民ニーズや社会的課題を的確に把握し、各種講座を企画運営し多様な学習の機会と場を提供する。さらに、学んだ人たちが習得した成果を家庭や地域において活用できるように支援することによって、人づくりや地域づくりを推進する役割を担っている。

### (1) 生涯学習センター

#### ア 中央・東・西・南・北（市民活動センター併設）

平石・清原・横川・瑞穂野・城山・国本・富屋・豊郷・篠井・姿川・雀宮（地区市民センター併設）

地域の市民を対象に、運営方針に基づいた事業や、地域の実情に応じた事業、現代的課題の解決に資する事業などを実施するとともに、生涯学習に関する相談や情報の提供など、生涯学習課活動の支援などを行う。

また、市民活動センター併設館では、地域コミュニティセンターにおける活動の支援を行う。

#### イ 上河内・河内生涯学習センター

合併地区について、その地域の市民を対象に、運営方針に基づいた事業や、地域の実情に応じた事業、現代的課題の解決に資する事業などを実施する。

### (2) 生涯学習センター運営審議会

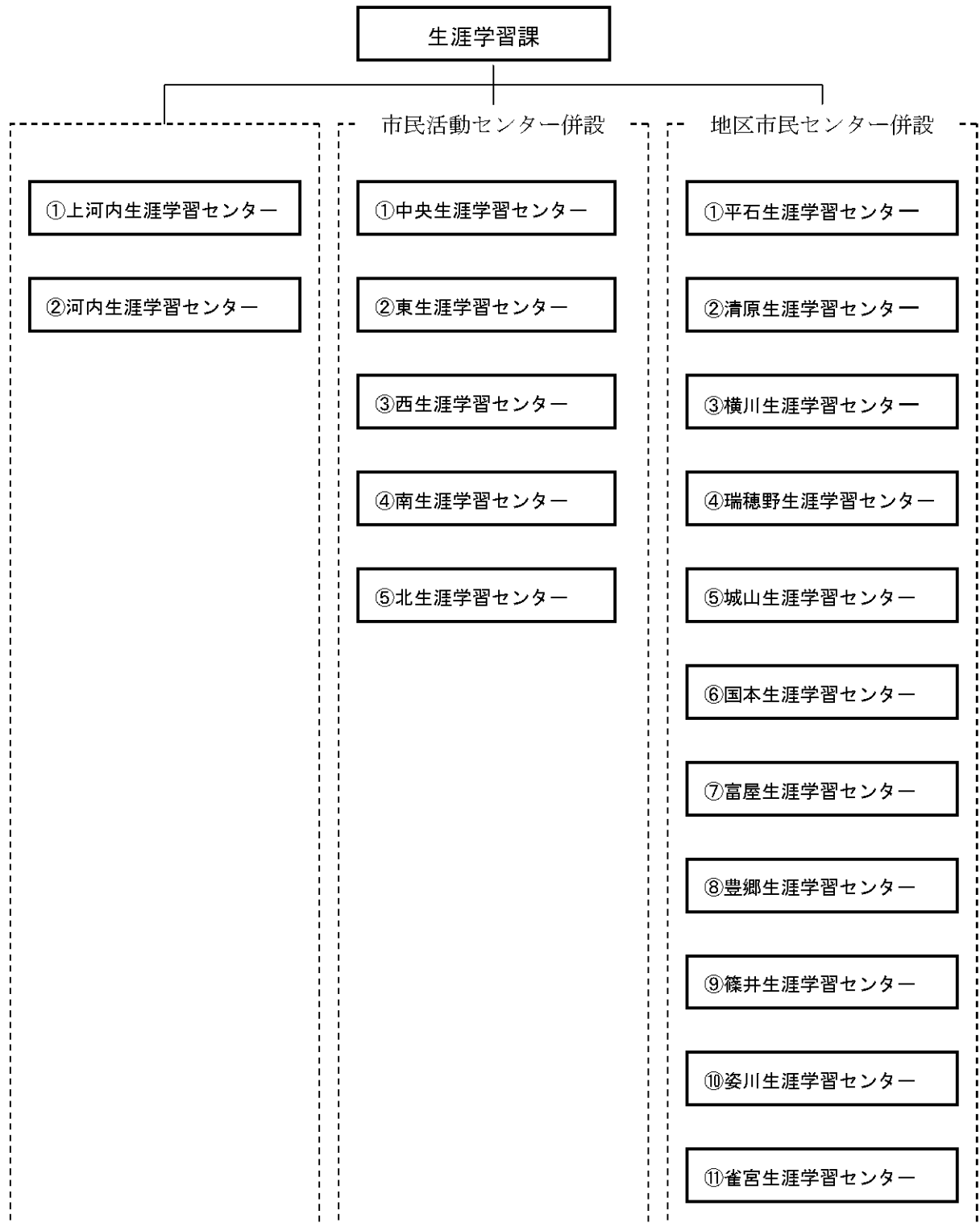
生涯学習センター条例の施行に伴い、宇都宮市公民館運営審議会（平成13年6月1日設置）が宇都宮市生涯学習センター運営審議会として中央生涯学習センターに置かれ、全生涯学習センターにおける社会教育事業や先駆的事业、現代的課題に関する事業について調査審議することとなった。

審議会の委員の定数は20名で、社会教育及び学校教育の関係者並びに学識経験を有する者等に委嘱し、年3回程度の会議を予定している。

## 2 生涯学習センターの体制

### (1) 組織体制

生涯学習センターの組織体制は、下記のとおりであり、平成22年度から中央生涯学習センターが担っていた中央館としての機能を生涯学習課の本課機能として集約・強化を図り、生涯学習課が全ての生涯学習センターを統括・支援することとしている。生涯学習センターは、教育委員会所管の生涯学習センター2か所と、市民まちづくり部所管の市民活動センター併設の生涯学習センター5か所、地区市民センター併設の生涯学習センター11か所の合計18か所により構成されている。



(2) 開館時間

貸 館	使 用 時 間 区 分		休 館 日
	午前の部	9:00 ~ 12:00	12月29日~1月3日
午後の部	12:30 ~ 17:00		
夜間の部	17:30 ~ 21:30		
図 書 室	月~金	土・日	休館日
	8:30~19:00 *カードの新規登録は, 平日8:30~17:00のみ	9:30~19:00	12月29日~1月3日

### 3 生涯学習センターの分担事務

#### (1) 生涯学習センターの事務分掌

※ 宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則

第18条 生涯学習センターは、次の各号に掲げる事務を分掌する。

- (1) 宇都宮市生涯学習センター条例(平成13年条例第47号)第4条に規定する生涯学習センターの事業に関すること。
- (2) 生涯学習センターの文書、予算、その他庶務に関すること。
- (3) 生涯学習センターの業務の進行管理に関すること。
- (4) 生涯学習の相談及び支援に関すること。

※ 宇都宮市生涯学習センター条例

第4条 センターの事業は、次のとおりとする。

- (1) 生涯学習の振興に資する事業の企画及び立案
- (2) 法第22条各号に掲げる事業
- (3) 生涯学習の振興に資する図書、資料、情報等の収集及び提供
- (4) その他市民への生涯学習の機会の提供について必要な事業

※ 社会教育法

第22条 公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。

但し、この法律及び他の法令によって禁じられたものは、この限りでない。

- 1 定期講座を開設すること。
- 2 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 3 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 4 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 5 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 6 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

## 4 生涯学習センター施設概要

### (1) 宇都宮市中央生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市中央1丁目1番13号
- ・ 構造 RC造6階建
- ・ 敷地面積 2,613.54m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 3,521.57m<sup>2</sup>
- ・ 建築年月日 昭和55年8月20日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 24台(6台)

### (2) 宇都宮市東生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市中今泉3丁目5番1号
- ・ 構造 RC造3階建
- ・ 敷地面積 9,025.79m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 2,822.46m<sup>2</sup>
- ・ 建築年月日 平成4年6月1日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 215台(7台)

### (3) 宇都宮市西生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市西一の沢町17番32号
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 2,821.81m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 758.52m<sup>2</sup>
- ・ 建築年月日 昭和58年12月10日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 32台(1台)

### (4) 宇都宮市南生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市江曾島2丁目4番23号
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 4,266.74m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 1,013.17m<sup>2</sup>
- ・ 建築年月日 平成9年9月10日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 69台(2台)

### (5) 宇都宮市北生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市若草3丁目12番25号
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 1,616.57m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 756.00m<sup>2</sup>
- ・ 建築年月日 昭和56年12月10日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 41台(1台)

#### (6) 宇都宮市平石生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市下平出町158番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 6,984.00㎡
- ・ 延床面積 1,486.42㎡
- ・ 建築年月日 平成14年6月24日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 132台(3台)

#### (7) 宇都宮市清原生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市清原工業団地15番地4
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 5,076.82㎡
- ・ 延床面積 1,488.44㎡
- ・ 建築年月日 平成3年4月1日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 46台(2台)

#### (8) 宇都宮市横川生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市屋板町576番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 7,980.61㎡
- ・ 延床面積 1,498.69㎡
- ・ 建築年月日 平成18年3月20日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 112台(3台)

#### (9) 宇都宮市瑞穂野生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市下桑島町1030番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 6,398.36㎡
- ・ 延床面積 1,455.29㎡
- ・ 建築年月日 平成4年4月13日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 90台(3台)

#### (10) 宇都宮市城山生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市大谷町1059番地5
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 6,158.30㎡
- ・ 延床面積 1,649.72㎡
- ・ 建築年月日 平成6年4月1日
- ・ 駐車台数(うち身障者用) 60台(2台)

#### (11) 宇都宮市国本生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市宝木本町1868番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 6,585.03㎡
- ・ 延床面積 1,494.90㎡
- ・ 建築年月日 平成12年10月1日
- ・ 駐車台数（うち身障者用） 102台（3台）

#### (12) 宇都宮市富屋生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市徳次郎町80番地2
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 7,515.86㎡
- ・ 延床面積 1,498.05㎡
- ・ 建築年月日 平成9年4月1日
- ・ 駐車台数（うち身障者用） 94台（2台）

#### (13) 宇都宮市豊郷生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市岩曾町825番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 6,011.69㎡
- ・ 延床面積 1,496.77㎡
- ・ 建築年月日 平成8年4月1日
- ・ 駐車台数（うち身障者用） 101台（2台）

#### (14) 宇都宮市篠井生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市下小池町466番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 5,524.86㎡
- ・ 延床面積 1,367.09㎡
- ・ 建築年月日 平成3年4月1日
- ・ 駐車台数（うち身障者用） 65台（2台）

#### (15) 宇都宮市姿川生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市西川田町805番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 8,495.42㎡
- ・ 延床面積 1,497.56㎡
- ・ 建築年月日 平成15年12月22日
- ・ 駐車台数（うち身障者用） 130台（3台）



#### (16) 宇都宮市雀宮生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市新富町9番4号
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 4,003.14㎡
- ・ 延床面積 1,552.24㎡
- ・ 建築年月日 平成元年10月16日
- ・ 駐車台数 (うち身障者用) 109台 (2台)

#### (16) - 2 宇都宮市雀宮生涯学習センター南館

- ・ 所在地 宇都宮市南町6番3号
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 1,520,71㎡
- ・ 延床面積 346.13㎡
- ・ 建築年月日 昭和59年 月 日
- ・ 駐車台数 (うち身障者用) 10台 (1台)

#### (17) 宇都宮市上河内生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市中里町182番地1
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 10,338㎡
- ・ 建物面積 (延床面積) 924.95㎡ (924.95㎡)
- ・ 建築年月日 昭和49年3月20日
- ・ 駐車台数 (うち身障者用) 30台 (2台)

#### (17) - 2 宇都宮市上河内生涯学習センターひばり館

- ・ 所在地 宇都宮市上小倉町536番地1
- ・ 構造 木造平屋建
- ・ 敷地面積 2,531.00㎡
- ・ 建物面積 (延床面積) 406.2㎡ (387㎡)
- ・ 建築年月日 昭和30年4月1日
- ・ 駐車台数 (うち身障者用) 0台 (0台)

#### (18) 宇都宮市河内生涯学習センター

- ・ 所在地 宇都宮市中岡本町3225番地
- ・ 構造 RC造2階建
- ・ 敷地面積 10,674.24㎡
- ・ 建物面積 (延床面積) 2,301㎡ (2,219.00㎡)
- ・ 建築年月日 昭和53年4月1日
- ・ 駐車台数 (うち身障者用) 100台 (2台)

## 5 生涯学習センターの沿革

- 昭和 24.10.17 城山公民館が設置される。(昭和29・11・1 市立となる)
- 昭和 24.12. 1 富屋公民館が設置される。(昭和29・11・1 市立となる)
- 昭和 25. 1.26 平石公民館が設置される。(昭和29・ 8・1 市立となる)
- 昭和 25. 3.20 豊郷公民館が設置される。(昭和29・11・1 市立となる)
- 昭和 25. 7.20 国本公民館が設置される。(昭和29・11・1 市立となる)
- 昭和 26. 1.26 篠井公民館が設置される。(昭和29・11・1 市立となる)
- 昭和 26. 4. 1 瑞穂野公民館が設置される。(昭和29・10・1 市立となる)
- 昭和 26. 8. 1 清原公民館が設置される。(昭和29・ 8・1 市立となる)
- 昭和 26.12. 1 姿川公民館が設置される。(昭和30・ 4・1 市立となる)
- 昭和 28.12. 1 雀宮公民館が設置される。(昭和30・ 4・1 市立となる)
- 昭和 29. 8. 1 中央・東・築瀬・西原・戸祭・今泉・陽南・桜公民館が設置される。
- 昭和 29. 9.25 横川公民館が設置される。
- 昭和 30.10. 1 西・昭和・細谷・錦・峰公民館が設置される。
- 昭和 33. 2. 1 宇都宮市公民館連絡協議会が結成される。
- 昭和 44. 4. 1 中部公民館が設置される。(市立旭病院の建物を利用)  
中央・東・西・築瀬・西原・昭和・桜・錦・富士見・峰・泉が丘・戸祭・細谷・陽南公民館を分館とする。
- 昭和 46. 4. 1 南公民館が新設される。  
石井分館・宮の原分館を開設
- 昭和 47.11.15 巡回文庫を開設， 9 公民館12分館を配本所とする。
- 昭和 48. 4. 1 御幸分館を開設
- 昭和 49. 4. 1 宝木分館を開設
- 昭和 51. 4. 1 城東分館・陽東分館を開設
- 昭和 53. 4. 1 東公民館が新設される。(今泉公民館廃止)  
御幸が原分館を開設
- 昭和 55. 7. 2 明保分館を開設
- 昭和 56. 4. 1 市立図書館の開館に伴い， 移動図書館が移管された。
- 昭和 57. 4. 1 北公民館が新設される。(細谷分館廃止)
- 昭和 58. 4. 1 陽光分館を開設
- 昭和 59. 4. 1 西公民館が新設される。(桜分館廃止)  
雀宮公民館分館を開設
- 昭和 61.10.24 中部公民館が， 10月 6 日新市庁舎開庁に伴い， 中央 1 丁目 1 番 1 3 号， 旧市役所別館南館に仮移転した。

昭和 62. 4. 1	旧市役所別館北館に移転，名称も『宇都宮市立中央公民館』とし，名実ともに市内にある公民館の核としての役割を担い開館した。
平成 元. 10. 16	地区市民センターとの施設複合化開始（雀宮公民館）
平成 3. 4. 1	地区市民センターとの施設複合化（篠井公民館）
平成 3. 4. 1	地区市民センターとの施設複合化（清原公民館）
平成 4. 4. 13	地区市民センターとの施設複合化（瑞穂野公民館）
平成 6. 4. 1	地区市民センターとの施設複合化（城山公民館）
平成 7. 4. 1	各分館長が専従職員（非常勤嘱託員）となる。
平成 7. 10. 14	西原分館の会議室（空き教室利用）の開所式
平成 8. 4. 1	地区市民センターとの施設複合化（豊郷公民館）
平成 8. 4. 1	生涯学習課より権限の一部を中央公民館に委譲
平成 9. 4. 1	地区市民センターとの施設複合化（富屋公民館）
平成 9. 10. 20	南公民館改築される。
平成 10. 5. 11	宝木分館の会議室（空き教室利用）の拡大
平成 10. 6. 1	東分館の会議室（空き教室利用）の拡大
平成 12. 10. 1	地区市民センターとの施設複合化（国本公民館）
平成 13. 1	南公民館エレベーター設置
平成 14. 3. 30	錦分館改築される。
平成 14. 4. 1	公民館条例の廃止，生涯学習センター条例制定の議決に伴い，中央・東・西・南・北公民館及び11地区公民館と共に『生涯学習センター』と名称変更。中央公民館は『中央生涯学習センター』として宇都宮市の生涯学習の中核として開設された。また，分館は『地域コミュニティセンター』となった。
平成 14. 6. 24	地区市民センターとの施設複合化（平石生涯学習センター）
平成 15. 8	中央東西南北生涯学習センター施設内全面禁煙
平成 15. 12. 22	地区市民センターとの施設複合化（姿川生涯学習センター）
平成 18. 3. 20	地区市民センターとの施設複合化（横川生涯学習センター）
平成 19. 3. 31	上河内町，河内町との合併に伴い，以下の施設を所管。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上河内生涯学習センター（本館，ひばり館） *旧上河内町中央公民館，同ひばり館</li> <li>・河内生涯学習センター（本館，田原館） *旧河内町中央公民館，同田原分館</li> </ul>
平成 22. 4. 1	以下の施設を自治振興部に所管替。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央生涯学習センター</li> <li>・東生涯学習センター</li> <li>・西生涯学習センター</li> <li>・南生涯学習センター</li> <li>・北生涯学習センター</li> </ul>

## 6 平成25年度生涯学習センター事業運営の考え方

### (1) 基本的な考え方

近年における、少子超高齢・人口減少社会の到来や都市化・核家族化の進行などにより、家庭・地域の教育力の低下や住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、青少年層の自立意欲の減退など、人づくりやまちづくりにおける課題が顕在化してきている一方、団塊の世代の地域活動が活発化してきており、これからの地域を支える新たな担い手として期待されるなど、本市を取り巻く社会環境は大きく変化している。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、地域の絆や人と人とのつながりの大切さが改めて注目され、復興支援活動をはじめとした、人々の社会貢献意欲が一層高まりを見せており、こうした気運を持続的なものとし、地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化など、地域づくりの取組を促進するためには、「個人の自立」や「絆づくり・地域づくり」につながる事業の充実に取り組んでいく必要がある。

こうしたことから、現在策定中の「(仮称)第2次地域教育推進計画」において検討している課題や方向性等を踏まえ、地域を支える市民一人ひとりが自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高めるような事業や学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業に取り組んでいく。

### (2) 各生涯学習センターの役割

全ての生涯学習センターにおいて、個人の要望に応える事業と現代的課題に対する学びなどの社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら事業を推進するとともに、市民の生涯学習ニーズに応じた学習相談及び支援を行う。

また、自立した個人を養成するための事業や、地域の課題解決に向けた事業などに積極的に取り組み、住民の身近な地域における学習の拠点として「地域教育」の推進に向けた事業を実施する。

なお、講座等事業の実施にあたっては、開催日時や学習の手法の検討、託児の充実など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの連携に配慮する。

### (3) 重点項目

#### ア 人間力の向上に資する事業の充実

激しく変化する社会の中で、市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや仲間づくりにつながる趣味・教養的な講座を引き続き実施するとともに、個人の自立を促すための生活に役に立つ講座や国際交流、男女共同参画、人権、まちづくりなど社会の要請に対応する講座の充実を図る。

#### イ 家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や子育ての知識や技術を身につけるための講座などを実施する。実施にあたっては子育て中の親の仲間づくりにつながるよう、参加交流機会の充実に努める。

また、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るとともに、学校や企業など、地域を構成する各主体とのより一層の連携・協力を図り、家庭と地域が抱える課題の解決に資する事業の充実に努める。

#### ウ 学習情報拠点としての充実

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として、積極的な情報収集や提供とともに、生涯学習センターの情報共有を行い、学習相談の充実に努める。

#### エ 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進

市民の地域に根差した学習活動を推進するため、各種ボランティア等の養成を推進するなど、地域で活躍できる「人づくり」の充実を図るとともに、地域に目を向け、地域のもつ魅力や課題に気づききっかけとする地域学講座の実施に努める。また、学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような機会と場の提供に努める。

※ 地域学講座の関連事業として、生涯学習課において学んだ成果と活動をつなぐ、人材バンクの構築を進めており、地域学講座の受講者を人材バンクに登録することや、人材バンクの登録者に地域学講座の受講を促すことなど「知の循環」を図っていくことを想定している。

## 7 生涯学習センター（平成25年度基本方針・重点事業・事業計画）

### （1）中央生涯学習センター



所在地：宇都宮市中央1丁目1番13号  
電話番号：028-632-6331  
ファクス：028-639-7579

開設：昭和44年 4月 1日  
対象区域：市域全体及び  
中央・東・西・築瀬・西原・  
昭和・錦・宮の原小学校の  
各通学区域

#### ア 平成25年度 中央生涯学習センター基本方針

中央地区における生涯学習及び市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

- （ア） 市民ニーズや社会情勢に対応した魅力ある学習機会の提供に努める。特に、個人に委ねられがちな青年教育の充実と親学の向上に努める。
- （イ） コーディネーターへの活動の機会や場の提供を行い、人材活用に努める。
- （ウ） 所管する8地域のそれぞれの地域特性に応じた生涯学習の推進とまちづくり活動への支援を通し、地域人材の育成や活用に努める。

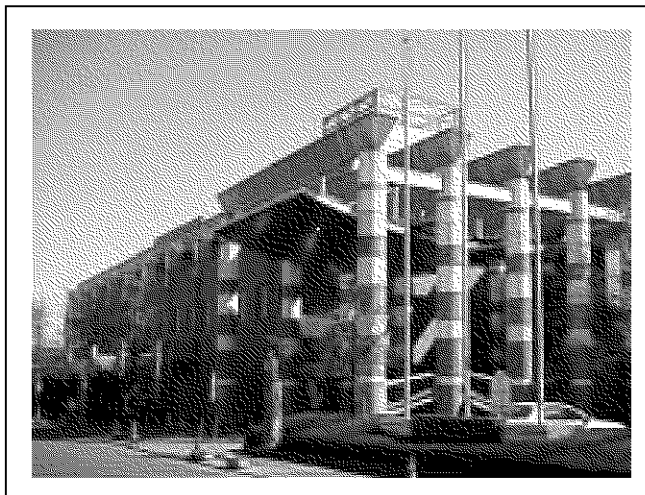
#### イ 平成25年度 中央生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	中央青年教室（若者ナイトセミナー）
事業の内容	青年層を対象に、社会生活や仕事のうえで役立つ知識や教養を身に付ける学習機会と仲間作りの場を提供し、社会で活躍する青年の増加を目指す。
開設回数	6回
備考	市内在住・在学・在勤の青年を対象とする。

ウ 平成25年度 中央生涯学習センター事業計画

事業名	内 容	対 象	回数	分野
子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。	乳幼児（0～5歳）とその保護者	10	家庭
親と子のわくわく体験講座	親が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換する機会を提供する。	市内在住の小学生とその保護者	4	家庭
金曜まなび塾	行政や市民との連携、協力により、行政各課や各団体が実施する活動とその内容について、理解を深める学習機会を提供することにより、生涯学習の推進を図る。	市内在住・在勤の一般成人	10	成人
若者ナイトセミナー	青年層を対象に、社会生活や仕事のうえで役立つ知識や教養を身に付ける学習機会を提供し、社会で活躍する青年の増加を目指す。	市内在住・在学・在勤の青年（18歳～35歳程度）	5	青少年
市民企画運営講座 1	生涯学習コーディネーター養成講座修了生の企画・運営による講座	未定	4	指導者
市民企画運営講座 2			4	養成
生涯学習コーディネーター養成講座（第2部）	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習を通して実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	養成講座第1部修了者	—	指導者 養成
中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	1	地域活動

## (2) 東生涯学習センター



所在地 宇都宮市中今泉3丁目5番1号  
 電話番号 028-638-5782  
 ファクス 028-638-1171

開設 昭和53年 4月 1日  
 移転 平成22年 4月 1日  
 対象区域 今泉・峰・泉が丘・石井・御幸  
 ・城東・陽東・御幸が原小学校の  
 各通学区域

### ア 平成25年度 東生涯学習センター基本方針

生涯にわたり自分にあった学習活動が行えるよう東部地区における生涯学習の拠点として市民の学習活動の支援をするとともに、地域全体の社会教育やまちづくり等市民が学習成果を地域社会に還元できる事業を推進する。

(ア) 多様な市民ニーズや様々な社会情勢、課題に対応した魅力ある事業の展開を図る。

(イ) コーディネーターや地域ボランティアへの活動の機会・場の提供を行い、地域の自主的な学習と教育力の向上を目指す。

### イ 平成25年度 東生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	すくすく子育て講座
事業の内容	乳幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図るとともに、子育ての学習やレクリエーションを通して、親子同士の交流を深める。
開設回数	12回(前期6回, 後期6回,) 24時間
備考	・就学前の乳幼児とその保護者, 毎回子育て相談を同時開催

重点事業の名称	ふれあい塾
事業の内容	幅広い分野のテーマについて受講生同士の話し合いの場を設け“聴く, 見る学習の場”から“話し合う学習の場”を目指す
開設回数	8回(16時間)
備考	・生涯学習コーディネーターが企画運営する講座



ウ 平成25年度 東生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
すくすく子育て講座	乳幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図るとともに、レクリエーションを通して、親子同士の交流を深める。 また、子育ての悩みを相談したり子育てに関する知識を身につける機会を提供する。	就学前の乳幼児とその保護者	前期 6回 後期 6回	家庭教育
親子でDoing (親子チャレンジ教室)	親子が実験や工作などの体験を通して、環境やものづくりについて学ぶ。	小学校3年生とその保護者	6回	
子ども国際理解サマースクール	外国人と身近に接する参加型の学習を通して、「国際理解・協力」の力を養う。	小学4～6年生	3回	青少年教育
東雲塾	高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るために、歴史や文化、軽体操、レクリエーションなどの学習を行う。	65歳以上	8回	成人教育
市民運営講座 「ふれあい塾」	生涯学習コーディネーターが企画・運営する講座。グループワークを行い、受講生同士の交流を深めるとともに、自分の意思で学び、主体的な取組ができるよう促す。	一般成人	8回	指導員養成
生涯学習コーディネーター養成講座 (第2部)	自ら企画立案した講座に係る運営全般を担える人材を育成する。	一般成人	1回	
文化祭	センター利用団体及び管内地域で活動するグループの学習成果を発表する。	東生涯学習センター利用団体及び地域住民	1回	地域活動

### (3) 西生涯学習センター



所在地 宇都宮市西一の沢町17番32号  
電話番号 028-648-7480  
ファクス 028-648-8241

開設 昭和59年4月1日  
対象区域 富士見・桜小学校の各通学区域  
及び明保小学校通学区域のうち  
鶴田町の区域

#### ア 平成25年度 西生涯学習センター基本方針

平成25年度生涯学習センター事業運営の考え方にに基づき、市民の人間力の向上や家庭・地域の教育力の向上に資する「人づくり」を目的とした事業を中心に取り組む。

(ア) 社会生活の基礎的な能力向上や社会の変化に適応するための事業を充実させる。

(イ) 親子が共に育つ事業や地域の人的資源を課題解決につなぐ事業など、家庭と地域の教育活動支援を推進する。

(ウ) 地域特性を踏まえた魅力ある事業を実施する。

#### イ 平成25年度 西生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	随筆・エッセイを書く実践講座
事業の内容	随筆を基礎から学び、文化祭に出展します。学習を通してお互いに触れ合い、随筆への理解を深めることにより豊かな人生を送ることを目的とします。
開設回数	8回(16時間)
備考	

ウ 平成25年度 西生涯学習センター事業計画

事業名	内 容	対 象	回数	分 野
夏休みチャレンジ教室	夏休みを利用して様々な学習や体験を通じて、創造性や思考力を培うとともに、仲間との交流を深める。	小学校4年生～6年生 (市内小学校在学)	5回	青少年教育
すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。	1歳～3歳の幼児とその保護者 (市内在住)	6回	家庭教育
親子でGO!	親子で様々な体験をしながら親子の絆を深めるとともに、子どもの心を育むために役立つ知識を学習し、家庭の教育力向上を図る。	小学校1年生～3年生とその保護者 (市内小学校在学)	4回	家庭教育
いきいき実践!!男塾	団塊世代等の第2の人生を充実させるための契機として必要な知識や技術等を習得する。	成人男性 (市内在住・通勤)	9回	成人教育
市民運営講座 (シニアいきいきアンチエイジング)	いつまでも元気で、脳と体と心に若さを保ち、毎日をいきいきと過ごすための学習や受講者同士の交流を深める。	50歳以上の方 (市内在住・通勤)	8回	成人教育
西楽アカデミー	広く歴史や文学などの生きがいの学習のほか、健康や生活など現代において必要な知識・技能の向上等に関する学習を行うとともに、受講者同士の交流を深める。	成人 (市内在住・通勤)	10回	成人教育
随筆・エッセイを書く実践講座	随筆を基礎から学び、学習を通してお互いに触れ合い、随筆への理解を深めることにより豊かな人生を送る。	成人 (市内在住・通勤)	8回	成人教育
生涯学習コーディネーター養成講座(第2部)	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習を通して実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	成人 (生涯学習コーディネーター養成講座第1部修了者で西生涯学習センター実習希望者)	未定	指導者養成
文化祭	生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的に、講演会・作品展示・発表会・レクリエーション等を行う。	西生涯学習センター利用団体及び市民	1回	地域活動

#### (4) 南生涯学習センター



所在地：宇都宮市江曾島2丁目4番23号  
電話番号：028-645-0006  
ファクス：028-659-9953  
開設：昭和46年4月1日  
対象区域：陽南・陽光・緑が丘小学校の  
各通学区域

#### ア 平成25年度 南生涯学習センター基本方針

都市化や少子・高齢化の進展に伴い核家族化、地縁的なつながりの希薄化が進み、家庭や地域の教育力の更なる向上が求められており、南部地区における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、生涯学習によって得た知識や技術、能力を自己の向上に止まらず、地域社会づくりに還元できる機会と場の提供に努める。

- (ア) 地域内で発生しつつある課題・将来的に発生することが懸念される課題について、地域の人々が時間と場所と情報を共有し、その解決に向かって議論を重ねていける機会を提供することにより、地域の自立を支援していく。
- (イ) コーディネーターやボランティア、センター利用団体による自主的な学習機会、それぞれの個性や能力を発揮できる活動の機会と場を創出し、生涯学習の裾野の拡大に努める。

#### イ 平成25年度 南生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	絆再生プロジェクト
事業の内容	・ワークショップ・街歩きなどから、地域の課題を探り、住民のレベルで解決できる方法等を話し合う中で、互いを思いやりや支えあう気持ちを醸成し、一人ひとりができることを自主的・継続的に行えるように促す。
開設回数	6回

重点事業の名称	楽しく作ろう！ 料理講座
事業の内容	・宇都宮の食と文化を学び、男女ともに自炊ができ、お弁当を作ることをとおして、コミュニケーション能力や仲間との協同の楽しさを体感し、社会性を身につける。
開設回数	3回

重点事業の名称	市民運営講座／郷土の歴史探求「奥の細道」、男の料理教室
事業の内容	・生きがいをづくりを目的に、歴史や文化の学習を通して、仲間との交流を深める。 ・中高年男性の料理を通じて、仲間作りと生涯学習への動機付けを図る。
開設回数	奥の細道：3回 男の料理教室：5回

## イ 平成25年度 南生涯学習センター事業計画

事業名	内 容	対 象	回数	分野
初めて育児応援講座	初めて育児をする母親の育児への不安やとまどいを軽減し、同じ立場の母親と意思を共有す	初めて子供を持つ母親	3回	家庭教育
すくすく子育て講座	親子のスキンシップを深め、生き生きとした親子の絆を育み、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳幼児とその保護者	前期 5回、後期4回	
幼稚園ママの おやまなび塾	子どもが小学生となる時期に向かって必要な心構えを身につけ、また、同じ境遇の母親同士が話し合うことで、相互の交流を図る。	3歳～6歳の子どもをもつ母親	3回	
子育てお母さん応援講座 (ママのための傾聴講座)	家庭内でのコミュニケーションのための「傾聴」の技法を学ぶことで、家族や子どもとの会話の中での話しの聴き方、接し方を見直し、新たな気持ちで子育てに前向きに取り組めるようにする。	小学生～中学生の子どもをもつ母親	3回	
親子チャレンジ教室 ("親子で団結")	優しさと思いやりのある円満な家庭作りの一環として、家庭ではなかなかできない体験に親子でチャレンジすることで、親子の絆を深め子どもの「生きる力」を育む。	小学生のいる家族	3回	青少年教育
楽しく作ろう！料理講座	外食やコンビニ弁当を買う人が多い中、宇都宮の食と文化を学び男女ともに自炊が出来、お弁当を作ることをとおして、コミュニケーション能力や仲間との協同の楽しさを体感し社会性を身につける。	青少年	3回	
シニアセミナー 南悠塾	地域の中で孤立しがちな高齢者を対象に、「経済・健康・孤独」に焦点をあて、最期まで引退しない人生の実践を目的として、人としての尊厳を認め合い、自立して生きていく力やコミュニケーション力等を養う。	60歳以上の市民	6回	
絆再生プロジェクトⅡ	ワークショップ・街歩きなどから地域の問題点を探り、住民のレベルで解決できる方法等について議論する中で、思いやりや支えあう気持ちを醸成し、一人ひとりができることを自主的に、継続して取り組む。	一般市民	6回	
シニアインターネット講座	思わぬトラブルや犯罪に巻き込まれないことを目的として「インターネットセキュリティ対策講座」と、シニアがPCより簡単に扱える「タブレット体験講座」を行い、これまで利用を控えていた人が新たな情報手段として活用できるようにする。	60歳以上の市民	2回	成人教育
市民運営講座 (生涯学習コーディネーター 企画運営講座)	◇郷土の歴史探究「奥の細道」 生きがいをづくりを目的に、歴史や文化の学習を通して、仲間との交流を深める。	一般市民	3回	
	◇男の料理教室Ⅵ 中高年男性の料理を通して、仲間づくりと生涯学習への動機づけを図る。	中高年男性	5回	
生涯学習コーディネーター養成講座(第2部)	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習を通して実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	一般市民 (生涯学習コーディネーター養成講座第1部修了者)	未定	指導者養成
南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の・発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	施設利用者・一般市民	1回	地域活動
生涯学習の相談・地域支援	サークル活動団体の紹介などの生涯学習相談に対応するほか、地域・学校と連携して、魅力ある地域づくり・学校づくりを地域ぐるみで進める。	一般市民	随時	学習相談・地域支援
情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を支援するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	一般市民	随時	情報収集・提供

## (5) 北生涯学習センター



所在地 宇都宮市若草3丁目12番25号  
電話番号 028-621-7745  
ファクス 028-622-7093

開設 昭和57年 4月 1日  
対象区域 戸祭・細谷・宝木・西が岡・  
上戸祭小学校の各通学区域

### ア 平成25年度 北生涯学習センター基本方針

急激に社会環境が変化する現代において、豊かで住みよい地域社会づくりを推進するためには、家庭や地域の教育力の向上が必要かつ急務となっている。そのため、人間力の向上や、家庭・地域の教育力の向上に資する事業など、生涯の各時期において「人づくり」を目的とした事業を展開する。

(ア) 「人づくり」の基本となる家庭教育力の向上が図れるよう、ボランティアや地域の人的資源の活用・育成に向けた事業の充実に努める。

(イ) 社会人としての基礎的な力となる「人間力」の向上を図るため、人権・環境・健康・地域学などの取組に努める。

(ウ) 市民の多様な学習ニーズに対応するため、学習機会の充実や学習成果を活用できる機会と場の提供に努める。

### イ 平成25年度 北生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	新・家族応援講座
事業の内容	「家庭教育支援」・「ファザーリングの推進」・「子どもの体験活動」・「地域人材活用」を同時に満たせる講座として、子育て世代の夫婦が子ども連れで同じ場所に出向き、それぞれが意義ある時間を過ごすことができる講座
開設回数	4回
備考	

ウ 平成25年度 北生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
新・家族応援講座	「家庭教育支援」・「ファザーリングの推進」・「子どもの体験活動」・「地域人材活用」を同時に満たせる講座として、子育て世代の夫婦が子ども連れて同じ場所に出向き、それぞれが意義ある時間を過ごすことができる講座	乳幼児・小学校低学年の子どもとその父親・母親	4回	家庭教育
青少年リーダー養成講座	青少年を対象に各種体験や多様な活動を通してリーダーとなる人材の養成を図る。	小学4年～6年	2回	青少年教育
子ども映画鑑賞講座	ディズニーアニメーション映画の鑑賞と交通安全教室を行う。	小学生	1回	
聴いて読む名作PART 3	名作と言われる文学作品を講師の朗読を聴くことで作品を深く味わうとともに、新たな感じ方、捉え方の学習を通して心を豊かにする。	一般成人	3回	成人教育
現代考座 北洲塾	地域社会の課題、人権や健康等に関する講義や話し合い、館外学習等を通じて各自の役割を認識するとともに、地域社会への参加の輪を広める。	一般成人	10回	
市民運営講座 「食と健康」	健康体操(ヨガ)・調理実習(大人のヘルシークッキング)・歌声喫茶など心と体をリフレッシュしてセカンドライフを楽しむ。	一般成人	4回	
歴史講座 「わがまちを知ろう」	うつのみやの古代から現代まで、移り変わる歴史・文化・地理・風土の魅力を学ぶ。	一般成人	5回	
生涯学習コーディネーター養成講座(第2部)	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習を通して実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	一般成人(生涯学習コーディネーター養成講座第1部修了者)	1回	指導員養成
文化祭	センター利用団体及び管内地域で活動するグループの学習成果の発表する。	センター利用団体ほか	1回	地域活動

## (6) 平石生涯学習センター



所在地 宇都宮市下平出町158番地1  
電話番号 028-660-1964  
ファクス 028-689-2814

開設 昭和25年 1月26日  
施設複合化 平成14年 6月24日  
対象区域 平石中央及び平石北小学校  
の各通学区域

### ア 平成25年度 平石生涯学習センター基本方針

平石地区においては、まちづくり協議会が中心となり活発な活動を続けているが、全般的に活動従事者の固定化、高齢化が顕著であり、新たな人材の発掘・育成が急務となっている。こうしたことから、25年度においても、引き続き子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代を対象に、地域の魅力や地域の課題に加え現代的課題への関心を喚起し、地域活動への参加や地域リーダーの育成に結びつくような事業の充実を図る。

さらに、当地区は、保健福祉の拠点地区である利点を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉相談担当（東部）の連携の下に、石井、陽東地区との融合を図った事業を展開していく。

### イ 平成25年度 平石生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	親子ふれあい講座
事業の内容	連続した講座を開催することで、幼児期に必要な親子の遊びや体操を通じて、子どもへの関わり方を親子一緒に学ぶ。
開設回数	2回
備考	

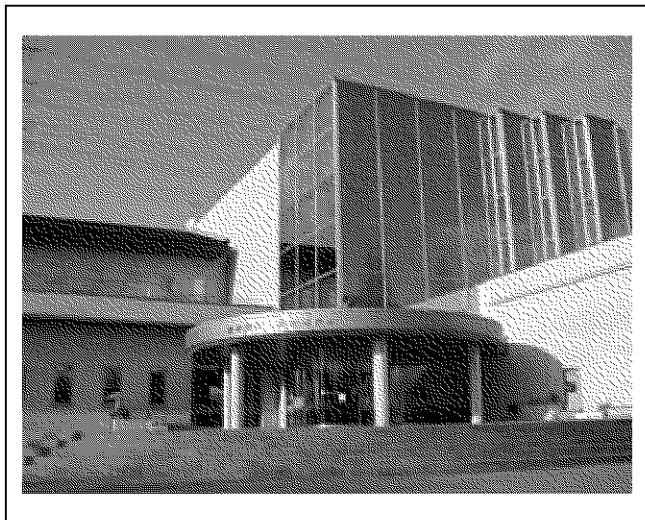
重点事業の名称	親子の広場「はぐはぐ」 (まちづくり支援Gと保健福祉相談担当（東部）の連携事業)
事業の内容	子育て親子の「集いの場」の設置（週1回サポーターを配置）、子育て支援に関する事業（リズム体操、保健講座等）を月1回実施。
開設回数	40回
備考	



ウ 平成25年度 平石生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
親子の広場 「はぐはぐ」	子どもを遊ばせながら気軽に参加できる場を設置することで、親同士が交流を図れ、また、サポーターが話し相手になることで、子育ての悩み解決への糸口が見出せるような子育て支援充実を図る。	地域内の乳幼児とその親	40回	家庭教育
親子ふれあい講座	幼児期に必要な遊びや体操を親子で体験するとともに子どもへの関わり方も一緒に学ぶ。	地域内の幼児とその親	2回	
家庭教育セミナー	子どもの生きる力を育むための知識や親子のコミュニケーションのとり方などについて学習する。	地区内小学生の親、親子	3回	
少年ふるさと教室	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。	地区内の小学生	4回	青少年教育
大人の教養講座	地域の人材育成は、重要な課題のひとつである。趣味や教養を学ぶ中で、人脈を広げるとともに、これまでに培った知識や経験を生かしながら、地域で生き生きと過ごす地域デビューのきっかけとする。	地区内に居住する成人	4回	成人教育
高齢者「友遊教室」	高齢者にふさわしい講話の受講や学習を通して、趣味や教養を高める。また、異世代間交流を通じて昔遊びなどを伝える。	地区内に居住する60歳以上の成人	9回	
高齢者指導者育成研修会	地域リーダーとしての資質の向上や後進の指導者の育成を図る。	地区内の高齢者	1回	指導者養成
女性指導者育成研修会	地域リーダーとしての資質の向上を図り、まちづくり活動の中心となる人材を育成する。	地区内の女性	1回	
文化祭	小学生の作品展示及び平石生涯学習センター利用団体による学習成果の発表を行なう。また、参加することにより、地域住民との連携意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	1回	地域活動

## (7) 清原生涯学習センター



所在地 宇都宮市清原工業団地 15 番地 4  
電話番号 028-667-5696  
ファクス 028-667-9062

開設 昭和 26 年 8 月 1 日  
施設複合化 平成 3 年 4 月 1 日  
対象区域 清原中央・清原南・清原北・  
清原東小学校の各通学区

### ア 平成 25 年度 清原生涯学習センター基本方針

清原地区の住民の多くは、清原台や清原工業団地周辺の住宅団地に居住し、また、テクノポリスセンター地区の整備により、若年層を中心に県内外から転入した核家族世帯の増加が見受けられる。このため、特に子育て支援に関する講座などは、毎回定員をオーバーするほどの申し込みがあるほか、育児や幼児向けの図書の貸し出しも多い。これらの講座等の実施により、参加者による新たなサークルが作られるなど、地域内のコミュニティづくりのきっかけにもなっている。

また一方では、古くからの農村集落が広く点在し、既存の住宅団地では高齢世帯の増加も進んでおり、これらの地域と新たな住宅地との住民の交流や地域づくりに関わる人材や組織の育成なども求められる。

こうしたことから、昨年度に引き続き、幼児期における家庭の教育力の向上を重点事業と位置づけ、さらに地域力を活かした青少年の育成や指導者の資質向上を図ることを目的とした事業を実施し、地域が抱える課題の解決の一助にする。

### イ 平成 25 年度 清原生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	親子ふれあい教室
事業の内容	幼児期の成長に必要な親子遊びを体験し、子育てに必要な知識の習得と子育ての不安を解消するとともに、保護者が自身を持って子育てができるようにする。
開設回数	6回
備考	

ウ 平成25年度 清原生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
親子ふれあい教室	<p>保護者が家庭における教育力の向上を図るため、子育てについての知識や技術を身につけ、親子のスキンシップを深めることにより、生き生きとした親子関係を育み、また、交流する親同士の子育てネットワークづくりの推進を図る。</p> <p>① ワークショップ、親子エアロビクス、リトミック</p> <p>② ベビーダンス・ベビーマッサージの体験学習及び話し合い学習</p> <p>③ 指導者による保護者への相談支援</p>	0歳～未就学児と保護者	6回	家庭教育
自然体験親子遊び塾	<p>自然の中での体験活動を通して、自然の素晴らしさ、命の大切さを学ぶとともに、仲間づくりや親子のふれあいを深める。</p> <p>・野外での体験活動</p>	地域内の小学生とその保護者	4回	
地域リーダー研修会	<p>地域のまちづくり活動を推進するため、地域活動や課題解決するための知識・情報を提供することにより、地域リーダーの資質向上を図る。</p> <p>・大学教授等の学識経験者による研修会の開催</p>	<p>清原地区内の指導者 自治会長、自治公民館長、地域まちづくり組織の役員等</p>	1回	指導者養成
出前講座	<p>地域住民の多様な学習ニーズや地域課題解決のための学習機会を提供することにより、地域づくりに対する関心や参加意識の向上を図る。</p> <p>・地域課題に応じて、自治公民館を会場とした出前講座を開催</p>	地域内住民	8回	地域活動
清原地区文化祭	<p>清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。</p>	清原生涯学習センター利用団体	1回	

## (8) 横川生涯学習センター



所在地 宇都宮市屋板町 576 番地 1  
 電話番号 028-656-6452  
 ファクス 028-656-7702

開設 昭和 29 年 9 月 25 日  
 施設複合化 平成 18 年 3 月 20 日  
 対象区域 横川中央・横川東・横川西  
 小学校の各通学区域と瑞徳台  
 小学校通学区域のうち、さる  
 やま町及び下栗町の区域

### ア 平成 25 年度 横川生涯学習センター基本方針

【地域の現状】横川地区は、農村部と都市部との混在する地域であり、インターパーク地区（東谷・中島地区）及び下栗・平松地区の区画整理に伴う地区周辺部における都市化の進展や、高齢化の進行などにより、居住スタイルが異なる住民が混在していることから、生涯学習に対するニーズが多様化している。

【基本方向】自立した個人を養成する事業に取り組むとともに、地域課題の解決に向け、地域ビジョンの策定も見据えながら、地域の魅力を再発見し、地域の現状把握を深める事業を実施する。

### イ 平成 25 年度 横川生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	まるごと横川
事業内容	横川地区における地域学講座として位置づけ、農作物、豊かな自然や貴重な文化資源など、横川地区の魅力再発見のための講座を開催することにより、地域の現状を把握し、地域課題の発見や課題解決に向けた取組に繋げていく。
開設回数	3回

### ウ 平成 25 年度 横川生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
子育て広場	親子でリズム体操やレクリエーションを行い、幼児の情緒を豊かに育み、友達づくりや親子のスキンシップを図るとともに、親同士の交流を通じて子育て世代の支援を図る。今年度は、市の子育て相談を講座に 1 回組み入れ、子育てに関する各種相談に対応する。	地区内の幼児と保護者	7回	家庭教育

親子で絵本とわらべうた	読み聞かせの手法や本選びを学び、わらべうたによる手遊び・歌遊びで子どもとのスキンシップを図るとともに、親同士の交流も支援する。	地区内の乳幼児と保護者	3回	
夏休みチャレンジ教室	ものづくりなどの体験学習を通じて、つくる楽しさを実感することで豊かな情操や社会性を育てる。	地区内の小学生	2回	青少年教育
食育講座	身近な食材を利用し、健康的な食生活を送るための献立・調理を通して食に関する知識を深める。	地区内の一般成人	3回	成人教育
まるごと横川	横川地区における地域学講座として位置づけた上で引き続き開催し、当地区の魅力を学習し、地域ビジョンの策定に向けた機運の醸成を図る。	地区内の一般成人	3回	
ことぶき塾	高齢社会におけるライフサイクルを展望した生活設計や、身近な問題を学び、健康で生きがいのある生活を促進する。	地区内の高齢者	7回	
横川ふれあいまつり (文化祭・農業祭)	センター利用団体や地区内の各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上、農業の振興、生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	生涯学習センター利用団体及び一般市民	1回	地域活動

## (9) 瑞穂野生涯学習センター



所在地 宇都宮市下桑島町 1030 番地 1  
 電話番号 028-656-4250  
 ファクス 028-656-7704

開設 昭和 26 年 4 月 1 日  
 施設複合化 平成 4 年 4 月 13 日  
 対象区域 瑞穂野北・瑞穂野南小学校の  
 各通学区域と瑞穂台小学校  
 通学区域のうちさるやま町  
 及び下栗町を除く通学区域

### ア 平成 25 年度 瑞穂野生涯学習センター基本方針

瑞穂野地区においては、地域まちづくり協議会を組織する各種団体を中心とした活動が展開されている。また、新たな団地が形成されたことで人口が増加し、今後地域の発展が期待される。

しかしながら、少子高齢化社会を反映して従来からの住民の高齢化や地域コミュニティの希薄化なども顕在化し、人間生活の核である家庭の重要性が一層高まってきている。

こうしたことから、25年度においては、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、地域に愛着を持ってまちづくりに結びつくような事業の充実と地域課題解決に向けた講座を展開する。

### イ 平成 25 年度 瑞穂野生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	少年ふるさと教室
事業の内容	体験活動（自然活動等）を通して、リーダーとしての資質の向上と育成を図る。
開設回数	3回
備考	春季（5月）・夏季（8月、3日間）・冬季（1月）に開催する。

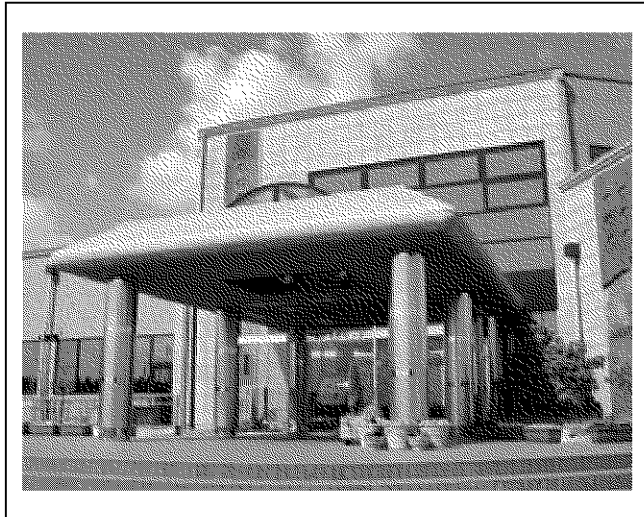
重点事業の名称	親子チャレンジ教室
事業の内容	瑞穂野地区内の3小学校の児童・保護者を対象に親子の絆やふれあいを深め、心身ともに健康な子どもの育成を図るとともに、受講生同士の交流を通して気軽に話し合える場を設け、子育ての一助とする。
開設回数	4回
備考	テーマを設け、新たな感動ができるよう講座内容の工夫をする。

重点事業の名称	自分発見講座
事業の内容	地域まちづくりや各種団体に参加するための知識や心構えなどを学ぶとともに、自分を磨きながら仲間づくりをし、地域デビューのきっかけをつくる。
開設回数	4回
備考	一般成人が円滑に地域で活動ができるようその「きっかけ」づくりの提供と地域づくり意識の高揚を図る。

#### ウ 平成25年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
なかよし親子の広場	ボール、ベル、ベルダーという3種の道具を使い、音楽に合わせて体を動かし創造力、集中力を養い、親子のふれあいを通して情操教育を学ぶ講座。他に大きな円形の布の端を皆で持って上下や回転など協調性や集中力を養う。	1歳半～3歳児と保護者	4回	家庭教育
少年ふるさと教室	体験学習を通し、地域の連帯感、郷土愛の育み、リーダー養成を図る。	小学生	3回	青少年教育
親子チャレンジ教室	親子とのふれあい、受講生同士の交流を通して気軽に話し合える場を設け、子育て支援の一環を担う。	小学生と保護者	4回	
自分発見講座	地域まちづくりや各種団体に参加するための知識や心構えなどを学ぶとともに、自分を磨きながら仲間づくりをし、円滑な地域デビューを支援する。	一般成人及び高齢者	4回	一般成人
文化団体指導者研修	地域の実情に即応した視察を実施し、各種団体の活動を活性化させ、仲間づくりや相互交流と情報交換と併せて地域づくりのリーダーとしての向上を図る。	地域内各種団体	1回	地域活動
文化祭	センター利用団体の学習成果の発表、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地域内一般成人センター利用団体	1回	

## (10) 城山生涯学習センター



所在地 宇都宮市大谷町 1059 番地 5

電話番号 028-652-4794

ファクス 028-652-5570

開設 昭和24年10月17日

施設複合化 平成6年4月1日

対象区域 明保・城山中央・城山西・  
城山東小学校の各通学区域

### ア 平成25年度 城山生涯学習センター基本方針

城山地区は、大谷石産業、農業、観光、レクリエーション地域として振興してきたが、近年大型団地も開発され、住宅地的な要素が強くなってきているため、当地区の課題を的確に抽出し、さまざまな人たちが、さまざまな場面で参加できる学習機会を創出するとともに地域住民ひとりひとりの学習意欲の向上やまちづくり活動への意識の醸成を図る。

東日本大震災の経験から、地域の絆や人とのつながりの大切さが求められていることから、一人ひとりが社会を支える一員であることを自覚し、積極的に活動できる人間力の向上に資する事業の充実を図る。

### イ 平成25年度 城山生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	ともそだち広場
事業内容	幼児の子育てに必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につけ、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワーク化を図る。また、地域団体が参画し、地域協力とその意識の向上を目指す。
開設回数	12回
備考	



ウ 平成25年度 城山生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
家庭教育学級	家庭における子どもの教育を行う上で必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につける。また、地域のリーダー的人材の育成を目指す。	小中学生の保護者	4回	家庭教育
親子料理教室	料理を通して、食に対する興味や健康への関心を高める。また、地産地消の食材を中心に活用することにより、地域への関心の喚起を目的とする。	小学生	3回	青少年教育
ヒト・マチづくり講座（まちづくり学習会）	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行う。また、実践的な活動を通して、総体的にまちづくり意識の高揚を図る。	地域の成人及び一般市民	3回	成人教育 指導者育成
文化祭・農業祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山地区コミュニティ協議会の構成団体および城山地区生涯学習センター利用団体	1回	地域活動

## (11) 国本生涯学習センター



所在地 宇都宮市宝木本町 1868 番地 1  
電話番号 028-665-2942  
ファクス 028-655-7225

開設 昭和 25 年 7 月 20 日  
施設複合化 平成 12 年 10 月 1 日  
対象区域 国本中央・国本西・  
晃宝小学校の各通学区域

### ア 平成 25 年度 国本生涯学習センター基本方針

地域社会を支える「人づくり」を推進するため、地域の資源や人材等を活用し魅力ある講座を企画し、地域住民が学びあい、交流しあう機会を提供することで、地域のよさを再発見し、地域への愛着を深めながら、個人レベルの生涯学習活動を地域まちづくり活動へと発展させるよう支援する。

### イ 平成 25 年度 国本生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	10倍楽しむ国本塾
事業の内容	国本の歴史・文化財をテーマに、地域のもので地域の人による地域のための講座を計画する。  また、地域資源をもとに、地域の人材による手作りの事業を実施することで、ふるさと意識の醸成と地域の絆を深め、地域課題も考える機会を提供しながら国本らしいまちづくりに繋げていく。
開設回数	4回
備考	

ウ 平成25年度 国本生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
親子ワクワク教室	家庭内での教育力の向上や人間形成を図るため、子どもと触れ合いながら楽しく育てる知識や技術を身につける。	地区内在住の未就園児とその保護者	7回	家庭教育
くにもと you 遊 club	他校児童との交流や親たちとの異世代交流を通して、子どもたちの他人を思いやる心や信頼する心を醸成する。また、地域の産業・文化など地域資源を知ることによって、次代を担う子どもたちの郷土愛を育み、地域活動への参加の基礎とする。	地区内在住の小学生(1年生～6年生)	3回	青少年教育
びびっと！ レディース教室	女性が、よりいきいきと輝くことを目指し、自分自身を美しく磨き人間力を高め、心身ともに健康で豊かな生活を営むための自己再発見の機会とする。さらに、地域の女性同士のコミュニケーションを通して、交流の輪を広げ、女性の地域活動への参加のきっかけづくりとする。	地区内在住の成人女性	4回	成人教育
高齢者自転車免許安全教室	地域高齢者の交通安全意識の向上と交通事故防止を目指し、自転車の交通安全に関する知識や技術を習得するとともに、地域交流を促進する。	地区内在住者(60歳以上)	1回	
生き生き健康教室	地域内の住民が、互いに地域の絆を育み、心身の健康の増進を図り、年齢に応じた生きがいのある元気で生き生きとした生活を営むために、必要な知識を身につける。	地区内在住の成人者	5回	
10倍楽しむ国本塾	地域の資源を生かしたまちづくりを推進するため、まず地域を知ることからはじめる。“くにもと”に関する歴史・文化等、地域手作りの講座をシリーズで実施する。	地区内(外)在住の成人者	4回	
文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の機会を提供し、生涯学習意欲の向上と活動の推進を図る。	学習センター利用団体 地区内小・中学校	1回	地域活動

## (12) 富屋生涯学習センター



所在地 宇都宮市徳次郎町 80 番地 2  
電話番号 028-665-1663  
ファクス 028-665-7226

開設 昭和 24 年 12 月 1 日  
施設複合化 平成 9 年 4 月 1 日  
対象区域 富屋小学校通学区域

### ア 平成 25 年度 富屋生涯学習センター基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業展開が行われており、今後も、「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成がより一層求められている。

こうしたことから、平成 25 年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づく契機とするための講座を実施するなど、地域社会を支える「人づくり」を推進するため、生涯学習事業の充実に努める。

また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、特色ある事業を展開していく。

### イ 平成 25 年度 富屋生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	地域学講座
事業の内容	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して自分の住む地域の特徴を理解し、地域の課題に気づくとともに、その解決方法について考える契機とする。
開設回数	2回
備考	

重点事業の名称	ゆるりん子育て親育ち講座
事業の内容	就学前の保護者が、子育ての悩みに関するグループワークなど子育てに関する情報交換を行うことを通して、自分にあった子育てを考える機会を持つとともに、親同士のネットワーク作りを促進し、家庭や地域における教育力の向上を図る。
開設回数	5回
備考	

ウ 平成25年度 富屋生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
親子ふれあい教室 「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通じて、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	地区内の就園前の乳幼児とその保護者	6回	家庭教育
ゆるりん子育て親子講座	就学前の保護者が、子育ての悩みに関するグループワークなど子育てに関する情報交換を行うことを通して、自分にあった子育てを考える機会を持つとともに、親同士のネットワーク作りを促進し、家庭や地域における教育力の向上を図る。	就学前の子どもを持つ保護者	5回	
家庭教育学級	家庭における子どもの教育を行うために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。	地区内の児童保護者と関心のある成人	3回	
少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を促進させるとともに、お互いの親睦を図り、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、併せて伝統文化や自然に関する学習機会を提供し健全育成に資する。	富屋小学校児童等	7回	青少年教育
少年科学教育教室	子どもたちが自ら考え、新しい面白さを発見できる実験を通して、科学に対する好奇心を高める。	富屋小学校児童等	3回	
高齢者教室	高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことによって教養を高める。	地区内の高齢者	6回	成人教育
成人教室	軽スポーツや教養講座などを通して、健康づくりや生きがいをづくり、世代間交流のきっかけづくりを行う。	地区内の成人	3回	
地域学講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して自分の住む地域の特徴を理解し、地域の課題に気づくとともに、その解決方法について考える契機とする。	地区内の成人	2回	
健康づくりハイキング	ハイキングを通じて健康増進と地域住民の交流を図る。	地区在住者	1回	地域活動
文化祭	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	生涯学習センター利用団体及び地域住民	1回	

### (13) 豊郷生涯学習センター



所在地 宇都宮市岩曾町 825 番地 1  
電話番号 028-660-2340  
ファクス 028-660-2270

開設 昭和 25 年 3 月 20 日  
施設複合化 平成 8 年 4 月 1 日  
対象区域 豊郷中央・豊郷南・豊郷北・  
海道小学校の各通学区

#### ア 平成 25 年度 豊郷生涯学習センター基本方針

豊郷地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開されている。

しかし、次世代を担う人材の育成、地域住民のコミュニティ意識の希薄化、各家族化の進行による家庭の教育力の低下など、様々な課題も生じている。

このようなことから、子どもの育ちや地域社会を支える人づくりを推進するため、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、人間力の向上や地域の教育力の向上、また、地域を理解し地域活動への参加や地域リーダーの育成に結びつくような事業を展開する。

#### イ 平成 25 年度 豊郷生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	①まほろば探検塾 ②親育ち講座
事業の内容	①地域の歴史や文化を学び、郷土への関心や愛着心を育むとともに、学びを通じた人づくりと地域の特徴(課題)を再確認することによって、まちづくり参加意識の向上を図る。 ②子育てに必要な知識や技術を学ぶとともに、親同士のコミュニケーションを図り、子育ての不安解消と親としての育ちを支援する。
開設回数	① 5 回 ( 15 時間) ② 4 回 ( 8 時間)
備考	

ウ 平成25年度 豊郷生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
子育て広場	子育ての学習や、レクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、保護者同士の情報交換の場を提供するとともに、子育てネットワーク作りの促進を図る。	就学前の乳幼児と保護者	7回	家庭教育
親育ち講座	家庭教育に関する知識、技能の習得及び親同士の交流により、子育ての不安を解消し家庭における教育力の向上を図る。	1～3歳の子を持つ保護者	4回	
わくわく体験教室	子どもの頃の体験が、生きる力を育み、人間力の向上を培うことから、ものづくりや自然体験・遊びなど多様な体験を通して、青少年のリーダーとなる人材の育成を図る。	地区内小学校3～5年生	6回	青少年教育
とよさと元気塾	情報化・国際化・少子高齢化と社会環境の変化の加速度が増している中、高齢者の社会的役割が求められる。変化に適応し、社会参加を実践するための知識や技能を身につけるとともに健康づくり生きがいがづくりを支援する。	地区内在住の60歳以上の成人	6回	成人教育
まほろば探検塾	地域の歴史や文化などを学ぶことにより、郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域のリーダーを育成する。	地区内在住の一般成人	5回	指導者育成
豊郷まつり (文化祭)	センター利用団体の学習成果の発表を行う。	豊郷生涯学習センター利用団体	1回	地域活動

## (14) 篠井生涯学習センター



所在地 宇都宮市下小池町 466-1  
電話番号 028-669-2515  
ファクス 028-669-2972

開設 昭和26年 1月26日  
施設複合化 平成 3年 4月 1日  
対象区域 篠井小学校通学区域

### ア 平成25年度 篠井生涯学習センター基本方針

篠井地区は豊かな自然に恵まれ、古くから世代間の交流を大切にし、歴史と伝統が守られてきた。近年、篠井ニュータウンの造成により新たに住民となった人も加わり、まちづくりのルールを共有することを通じて人と人の輪が広がりつつある。

そこで学びを通して豊かな人間性を育み、地域教育力の向上を図るため、より一層講座内容を充実させる。また、暮らしに彩を取り入れ、地域再発見など環境や地域素材を学ぶ体験的な事業に取り組み、「元気で魅力ある篠井」を目指す。更に、学習成果を地域づくりに結びつけ、新しい地域リーダーの育成を図る。

### イ 平成25年度 篠井生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	少年大空教室
事業の内容	様々な体験活動を通し少年の生きる力を育むともに地域の良さを見直す。
開設回数	7回
備考	

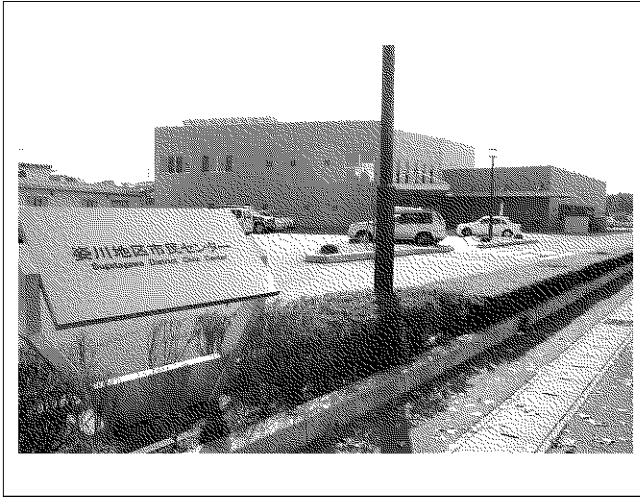
重点事業の名称	Sinoi スマイルファミリースクール
事業の内容	・家庭教育に必要な知識・技術を身につける。 ・学習を通し親自身の社会意識向上を図る。
開設回数	4回
備考	



ウ 平成25年度 篠井生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
Sinoi スマイルファミリースクール	家庭教育に必要な知識・技術を、親子の交流を通し身につける。	地区内小学生とその保護者	4回	家庭教育
ワクワク子育て仲間づくり	親と子のふれあいを深め、心身の健康を育むともに受講生の交流を促進する。	0歳～未就学児と保護者	5回	
少年大空教室	郷土の伝承、文化、自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通して地域の良さを見直す。	篠井小在籍児童	7回	青少年教育
輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持増進、世代間交流を図ることにより生き生きとした充実感溢れる生活を送る。	地区内高齢者	10回	成人教育
地域力アップ教室	地場産物や資源を利活用し、新たな食が地域に根ざすよう創意工夫することや環境美化（あじさいの植栽）活動により、地域の活性化を促進する。	一般成人	5回	
文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	学習センター利用団体	1回	地域活動

## (15) 姿川生涯学習センター



所在地 宇都宮市西川田町 805 番地 1  
 電話番号 028-658-1594  
 ファクス 028-659-9425

開設 昭和 26 年 12 月 1 日  
 施設複合化 平成 15 年 12 月 22 日  
 対象区域 姿川中央・姿川第一・姿川第二  
 小学校の各通学区域と新田小学  
 校の通学区域のうちみどり野  
 町、針ヶ谷町、針ヶ谷 1 丁目及  
 び若松原 3 丁目を除く区域

### ア 平成 25 年度 姿川生涯学習センター基本方針

当地区では、地域将来ビジョンに掲げた 10 年後のあるべき姿の実現に向けた取り組みを行ううえで、地域住民が自らの住む地域を理解することや、地域を支える人材を育成するための担い手が必要となっている。

そこで、この地区が生んだ文化人「川上澄生」を PR する内容の講座や、地域の人材を活用する講座を開催することにより、地域まちづくりへの関心や参加意識を高め、地域力の向上も図っていく。

### イ 平成 25 年度 姿川生涯学習センター重点事業

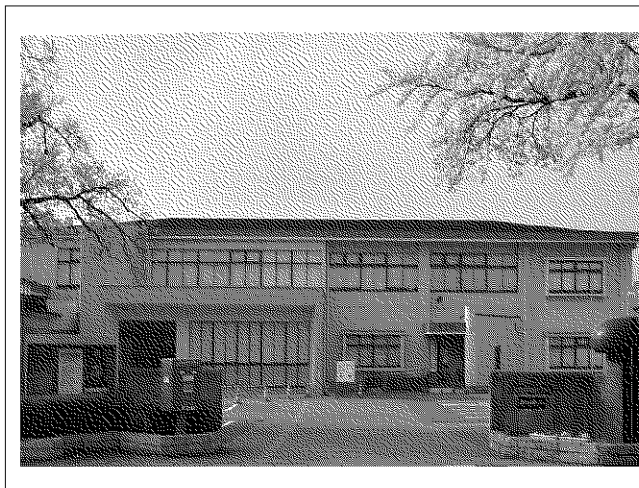
重点事業の名称	地域まちづくり人材養成講座（男の料理教室ほか）
事業の内容	「地域活動を始めたい」、「セカンドライフを充実させたい」、「自分が住む地域との関わりを深めたい」と考えている方々に、“地域デビュー”のきっかけ作りとなる事業とすることを目的とする。
開設回数	2 回（2 時間×2 回）

重点事業の名称	版画教室
事業の内容	当地区ゆかりのある版画家で詩人でもある「川上澄生」については、あまり知られていないことから、当地区市民センターで「版画教室」を開催することにより、この地区が生んだ文化人として PR するとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。
開設回数	4 回（3 時間×3 回 6 時間×1 回）

ウ 平成25年度 姿川生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
姿川ふるさと教室	郷土の伝承・文化や自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域への情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。	地区内の 小学4年生	7月～10月 計5回	青少年教育
版画教室	当地区ゆかりのある版画家で詩人でもある「川上澄生」については、あまり知られていないことから、当地区市民センターで「版画教室」を開催することにより、この地区が生んだ文化人としてPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	地区内一般 成人	12月 計5回	成人教育
シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに、受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的として行う。また、地域内の社会資源や「姿川地区人材バンク」を活用し、まちづくりの意識醸成を図るための事業展開を図り、それを通し、まちづくり活動のきっかけづくりの場を提供する。	60歳以上の 男女	9月～ 10月 計5回	
パソコン教室	初心者を対象にパソコンの基礎知識を習得し、情報化社会に関する学習機会の提供を図る。	地区内一般 成人	7月～ 8月 計5回	
地域まちづくり人材養成講（男の料理教室）	「地域活動を始めたい」、「セカンドライフを充実させたい」、「自分が住む地域との関わりを深めたい」と考えている方々に、“地域デビュー”のきっかけ作りとなる事業とすることを目的とする。	地区内一般 成人	1月～2月 計2回	指導者育成
姿川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的として行う。	地区内の各種団体及び 姿川生涯学習センター 認定団体	11月第1 土曜日及び 日曜日の 2日間	地域活動

## (16) 雀宮生涯学習センター



所在地 宇都宮市新富町9番4号  
電話番号 028-654-1013  
ファクス 028-653-5646

開設 昭和28年12月1日  
施設複合化 平成元年10月16日  
対象区域 雀宮中央・雀宮東・雀宮南・  
五代小学校の各通学区域及び  
新田小学校の通学区域のうち  
みどり野町, 針ヶ谷町, 針ヶ  
谷1丁目及び若松原3丁目の  
区域

### ア 平成25年度 雀宮生涯学習センター基本方針

少子高齢化, 高度情報化, 東日本大震災の発生による生活環境の変化への対応を考慮し, 住民ニーズや地域実態を反映し, 下記に配慮した効果的, 効率的な事業を推進する。

- (ア) 家庭教育力の向上
- (イ) 青少年教育の充実
- (ウ) 地域人材の育成, 活用
- (エ) 市民の主体的な生涯活動の促進

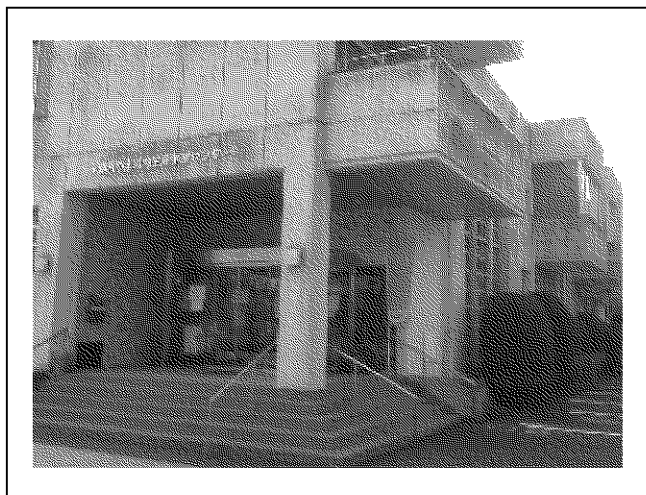
### イ 平成25年度 雀宮生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	親子ふれあい広場
事業の内容	雀宮地区内の未就学児とその保護者を対象に, 親子リトミック(リズム体操), 子育て相談などを開催し, 「親子の絆」を育むとともに, 同世代間の交流を深め, 家庭教育力の向上を図る。
開設回数	6回
備考	

ウ 平成25年度 雀宮生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
青少年セミナー教室	自然に親しむ活動やものづくりをとおして、仲間づくりや班編成による役割分担を決め、連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮生涯学習センター地区内の小学校に通学する4・5・6年生児童	5回	青少年教育
ものづくりスペシャール 2013-	雀宮地区の特性を活かし、ものづくりや体験学習をとおして習得することで自立心の向上やリーダーシップ精神を育む。また、同世代や親子の「絆」をつなげ、連帯感など地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生	2回	
ひまわり学級 (高齢者教室)	豊かな経験を引き続き社会に活かし、さらに新しい知識や趣味を会得することで、健康で生きがいのある豊かな人生を送るために必要な学習をする。	雀宮地域内の60歳以上の方	5回	成人教育
さわやかライフセミナー	現代的課題などの様々なテーマについて学習機会を設け、市民が自己実現のための学習や文化活動をとおして、豊かな人間性を獲得し、まちづくりに寄与できるようにする。	雀宮地域内の一般成人	5回	
雀宮学 (雀宮の神社・寺院と古墳)	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組・展開のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。	雀宮地域内の一般成人	1回	
親子ふれあい広場	少子化社会に対応し、家庭における子どもの教育を行うために必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につけ「親子の絆」を育むとともに、家庭教育力の向上を図る。	雀宮地域内の未就学児とその保護者	6回	家庭教育
雀宮地域文化祭	雀宮生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	雀宮生涯学習センター利用団体	1回	地域活動
冬のコンサート	コンサートを通じて地域住民への集いの場を提供し、連帯意識の高揚を図る。	雀宮地域内の一般成人	1回	

## (17) 上河内生涯学習センター



所在地：宇都宮市中里町182番地1

電話番号：028-674-2233

ファクス：028-674-4619

開設：昭和49年4月1日

対象区域：上河内東・上河内西・上河内  
中央小学校の各通学区域

### ア 平成25年度 上河内生涯学習センター基本方針

急激に変化する社会の中で、市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、人間力の向上や家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実を図るとともに、学んだ人材が学習成果や経験などを活かせるような機会や場の提供に努める。

(ア) 「人づくり」の基本となる家庭教育や人材育成の充実に努める。

(イ) 地域の特色を踏まえた魅力ある事業を推進する。

(ウ) 市民の自主的な生涯学習活動の促進

### イ 平成25年度 上河内生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	ライフアップセミナーin かみかわち
事業の内容	現代社会におけるホットな話題や身近なテーマなどを学ぶことにより、成人としての教養を高め一人ひとりがより充実した生活が送れるよう支援する。
開設回数	8回(16時間)
備考	

ウ 平成25年度 上河内生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
子育て広場	子育て中の親子が、講座をとおして触れ合うことで絆を深めるとともに、受講生同士の情報交換や交流を深める。	市内在住の1歳～未就園児と保護者	5回	家庭教育
親子チャレンジ教室	親子でさまざまな体験や触れ合いの場をとおして、共に学び、仲間づくりや豊かな人間性を養いながら、家庭教育の向上に努める。	市内在住の小学生と保護者	6回	
ライフアップセミナー in かみかわち	多様化した社会ニーズに対応するため、さまざまなテーマについての学習機会を提供し、人間力の向上に寄与する。	市内在住・通勤の成人	8回	成人教育
傾聴力UP	傾聴力をみがいて、日常のより良いコミュニケーションのとり方を学ぶ。	市内在住・通勤の成人	6回	
生き生き終活	人生の最期をより良く締めくくるために、自らの歩んできた道を振り返り、充実した終えんを迎えられるよう支援する。	市内在住・通勤の成人	5回	
ふれあいパソコン教室	情報化社会に対応するため、パソコンの基礎知識や文書作成などを習得する機会を提供する。	市内在住・通勤の成人	4テーマ (各3回) 12回程度	
メンズクッキング	男性の料理への興味・関心が高まっている中、健康をキーワードに献立から調理、後片付けまでを担えるよう学習する。	市内在住・通勤の成人男性	6回	
ほほえみ塾出前講座	地域高齢者などの学習ニーズに応え、自治会の公民館を会場に出前講座を実施し、生きがいくくりや仲間づくりを促進する。	地域内の各自治会・高齢者	随時	
市民運営講座	市民講座をとおして、専門的な知識や情報を提供し、豊かな生活が送れるよう支援する。	一般成人	1回	
生涯学習コーディネーター養成講座(第2部)	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習をとおして実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	生涯学習コーディネーター養成講座第1部修了者	未定	指導者養成
上河内地域文化祭	一般市民や登録利用団体に学習成果の発表の場を提供することにより、生涯学習の推進を図る。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	1回	地域活動

## (18) 河内生涯学習センター



所在地：宇都宮市中岡本町 3225 番地  
電話番号：028-673-0800  
ファクス：028-673-0846

開設：昭和53年 4月 1日  
対象区域：岡本・白沢・田原・岡本西・  
岡本北・田原西小学校の  
各通学区域

### ア 平成25年度 河内生涯学習センター基本方針

地域の特色を活かしながら、人間力の向上や家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実に努める。

地域で活躍できる人材の積極的な育成や学習成果を地域で活かせるような機会と場の創出に努めるとともに、地域の魅力や課題を発見し、郷土愛の醸成や課題の解決に向けた学習を推進する。

- (ア) 市民一人ひとりが、人間力の向上が図れるよう、社会の要請に対応したテーマを取り入れながら「成人教育」の充実に努める。
- (イ) 子どもの国際理解教育を推進する。
- (ウ) 子どもの年齢に応じた「家庭教育支援講座」を推進する。
- (エ) 「生涯学習コーディネーター」など、地域で活躍できる人材のレベルアップを図り、活躍の機会と場を提供する。

### イ 平成25年度 河内生涯学習センター重点事業

重点事業の名称	子ども国際理解教室
事業の内容	栃木県に在住する外国人（留学生など）や長期海外駐在経験者等を講師に招き、その国の生活や食事の仕方などについて学び、日本との生活の違いを理解するとともに、それらの国々と協力することの大切さを学ぶ。
開設回数	3日間（10時間）
備考	小学5・6年生を対象とする。



ウ 平成25年度 河内生涯学習センター事業計画

事業名	内容	対象	回数	分野
親子チャレンジ教室	親子参加型の遊びやスポーツなど様々な体験をとおして、親子の絆を深め、参加者相互の意見交換等により、家庭教育のあり方を学ぶ。	小学1～3年生とその保護者	1期3回 2期3回 3期3回	家庭教育
子育て広場	幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図ると共に、子育ての学習やレクリエーションをとおして、親同士・子同士の交流の場を提供しながら子育ての支援をする。 ※子育て相談4回	乳幼児とその保護者	9回	
ワクワク子育て講座	健全な子供の成長のための子育てについて学ぶとともに、親同士のコミュニケーションを図り、不安なく楽しく子育てができるよう学習の機会を与える。 ※託児あり	就学前の幼児を持つ保護者	前期3回 後期3回	
少年少女のオモシロ夏休み	小学校高学年の児童を対象に、充実した夏休みを計画的に生活させることを目的として、講座を開設する。	小学4～6年生	4回	青少年教育
子ども国際理解教室	栃木県在住の外国人・長期在外駐在経験者等を講師に招き、その国の生活や食事の仕方などについて学び、日本との生活違いを理解するとともに、それらの国々と協力することの大切さを学ぶ。	小学5・6年生	3回	
ふれあい学級	高齢者がお互いの連帯感を深め、学びあい励ましあって生き甲斐のある人生を送ることを目的として行う。	60歳以上	10回	成人教育
かがやきセミナー	健康で豊かな生活をおくるため、社会における一般的な基礎知識を学ぶとともに、郷土の歴史を探求し、郷土愛を深める。	20歳以上	10回	
パソコン入門講座	パソコンの基本操作や文書の作成などを習得し、社会活動や仕事に活用することを目的として行う。	20歳以上	10回	
美と健康きらめき講座	自身の健康・生活・言葉・マナーなど、さまざまな分野で女性がステキに輝ける知識、教養を、実体験を交えながら習得する。	20歳以上の女性	前期3回 後期3回	
市民運営講座 「こころの体操講座」	生涯学習コーディネーターの企画運営講座。(健康で楽しく過ごすため、こころの安らぎ・快適我家・身体の仕組みと手入れを学ぶ。)	20歳以上	前期3回	
男の料理入門講座	健康を維持していくための家庭料理を習得し、料理を通じて家族団らんのもてる料理に関心を持つ男性が増加することを目的とする。	20歳以上の男性	5回	
新春講演会	知識・文化人からの新年にふさわしい講話を聴講し、心豊かで幸せな生活がおくれるよう学習の機会を提供する。	一般・ふれあい学級・かがやきセミナー受講生	1回	
河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	一般	2日間	地域教育
託児ボランティア研修	ボランティア活動の意識向上及び託児ボランティアメンバー同士の相互理解と親睦を図る。	託児ボランティア登録者及び興味のある方	2回	指導者養成
生涯学習コーディネーター養成講座(第2部)	第1部で学んだ生涯学習講座の企画立案から、広報、実施までの講座運営について、実習をとおして実践的な力を身につけ、生涯学習を支援する人材を養成する。	生涯学習コーディネーター養成講座第1部修了者	未定	

## 平成24年度生涯学習センター事業運営の評価について

## 重点項目（1） 人間力の向上に資する事業の充実

## 【考え方】

市民一人ひとりが、心豊かに生活できるよう、人間力の向上に資する事業の充実を図る。

青少年世代を対象として、各種体験や異世代間・異文化間の交流など、多様な活動を通して、青少年のリーダーとなる人材の養成と活躍の場の創出を図る。

また、高齢者を含めた成人を対象として、これまで行われてきた趣味・教養的な講座はもとより、市の実情を知るための「行政情報講座」や現代生活力・適応力を高めるための各種講座、地域への気付きやコミュニティづくりへの参加を促すような講座の充実を図る。

## 【実績・評価】

「各種教養講座」や「子ども体験講座」などの講座については、ほぼ全てのセンターにおいて実施しており、こうした講座により、グループワークやものづくり等を通して、人との関わりを深め、豊かな人間性を育む機会が確保されている。

また、成人を対象とした講座については、多様な市民ニーズに即した講座を展開しているところであるが、今後は、「第2次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、「社会の要請」への対応や「個人の自立」に資するため、「地域課題」や「生活課題」解決に向けた学習の提供を実施し、大人に対する学習機会の充実や幅広い世代の参加促進に取り組んでいく必要がある。

## 重点項目（2） 家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実

## 【考え方】

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気付きを促す参加型の事業や、子育ての知識や技術を身につけるための事業を実施する。

また、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成や学校や企業などとの、より一層の連携・協力を図ることにより、家庭と地域が抱える課題の解決に資する事業の実施に努める。

## 【実績・評価】

「親子教室」や「幼児と親のふれあい教室」などの講座については、ほぼ全てのセンターにおいて実施しており、こうした講座により、親子がスキンシップを図りながら子育ての知識を学ぶだけでなく、子育てにおいて有効な親同士の意見交換などを意識した交流の場や、子育てネットワークづくりの場が確保されている。

また、「父親の参加による親子での体験活動」や、「子どもと地域の大人との交流」、「企業から講師を招き専門的知識を習得する講座」など、学校・地域・企業などとの連携や協力を得た事業を実施している。

今後は、地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るとともに、学校や企業などの地域を構成する団体とのより一層の連携・協力を図り、幅広い家庭に対して支援ができる仕組みについても検討する必要がある。

### 重点項目（3） 学習情報拠点としての充実

#### 【考え方】

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として、積極的な情報収集や提供とともに、生涯学習センター間の情報共有を行い、学習相談の充実に努める。

#### 【実績・評価】

各生涯学習センターにおいて来館や電話による学習相談や、相談者のニーズに応じた情報提供を行っている。

指 標	H 2 3	H 2 4	備 考
学習相談件数	1,961 件	1,523 件	参考資料（P24）参照
生涯学習センターへの登録件数 （団体・講師）	2,677 件	2,736 件	生涯学習情報提供システム（マナビス）より

学習相談件数は、前年度より減少しているが、団体・講師の登録件数は増加していることから、市民の学習活動に対する支援の効果が出ているものと考えられる。

今後も、市民の意識やニーズ等を把握し、積極的な情報の収集や提供と、学習相談の充実に努めていくことが必要である。

### 重点項目（4） 生涯学習を支える人材育成と学習成果の活用の促進

#### 【考え方】

市民の地域に根差した学習活動を推進するため、引き続き「生涯学習コーディネーター」をはじめとした各種ボランティア等の養成を推進するなど、地域で活躍できる「人づくり」の充実に図るとともに、養成した人材が学習成果や経験を地域などで活かせるような機会と場の提供に努める。

#### 【実績・評価】

地域における指導者や各種ボランティアの養成など、地域に貢献できる人づくりを推進する事業や、地域の課題等について地域住民が改めて考え、取り組む機会を創出する「地域かがやきプロジェクト」の実施や、雀宮地区における「地域学講座」の試行実施など、学習成果の活用を意識した講座が全体として増加傾向にある。

今後は、地域の課題に気づく「地域学講座」等を拡大し、学習を通じて市民意識を高めていくとともに、地域や関係団体などとの連携・協力を図りながら、学習成果を社会参画や地域活動につなげる仕組みづくりに取り組んでいく。

## 関係協議会への委員の推薦等について

### ○ 栃木県公民館連絡協議会の役員等

- ・ 栃木県内の公立公民館で組織する会であり、公民館活動の振興発展に寄与することを目的としている。
- ・ 協議会には、総会（役員、評議員が参加）、役員会（会長、副会長、理事が参加）があり、今回、評議員について1名選出依頼がきている。
- ・ また、この協議会には、館長部会、主事部会、公民館運営審議会委員部会を置くこととなっており、今回、公民館運営審議会委員部会の委員として2名の選出依頼がきている。
- ・ 栃木県公民館連絡協議会では役員の任期を1年と定めているが、生涯学習センター運営審議会からの選出に際しては当該審議会の任期と合わせて2年間継続で依頼している。

#### 〔選出する委員〕

##### ◇ 評議員

\_\_\_\_\_ 委 員

##### ◇ 公運審委員部会

\_\_\_\_\_ 委 員

\_\_\_\_\_ 委 員

### ○ 市民大学運営協議会への委員推薦

- ・ 市民大学運営協議会は、宇都宮市民大学の事業を円滑かつ効果的に運営するための機関であり、委員は学識経験者、生涯学習関係者及び生涯学習コーディネーターにより10人以内で組織されている。
- ・ 今回、委員の改選に伴い、生涯学習関係者として1名の推薦依頼がきている。

#### 〔推薦する委員〕

\_\_\_\_\_ 委 員

## 参 考 資 料

◎平成24年度 生涯学習センター事業実績

◎平成24年度 生涯学習センター事業実施報告書

◎平成24年度 学習相談利用状況

目 次

◎平成24年度 生涯学習センター事業実績	1
◎平成24年度 生涯学習センター事業実施報告書	
1 中央生涯学習センター	2
2 東生涯学習センター	3
3 西生涯学習センター	4
4 南生涯学習センター	5
5 北生涯学習センター	7
6 平石生涯学習センター	8
7 清原生涯学習センター	10
8 横川生涯学習センター	11
9 瑞穂野生涯学習センター	12
10 城山生涯学習センター	13
11 国本生涯学習センター	14
12 富屋生涯学習センター	15
13 豊郷生涯学習センター	16
14 篠井生涯学習センター	17
15 姿川生涯学習センター	18
16 雀宮生涯学習センター	19
17 上河内生涯学習センター	20
18 河内生涯学習センター	21
◎平成24年度 生涯学習センター学習相談利用状況	24

平成24年度 生涯学習センター事業実績

区分	事業数		延べ参加者数	講座内容の種別(複数該当あり)								
	講座数	実施回数		社会的課題	文化・教養	地域理解	学校連携	生活課題	行政理解	生きがい	指導者養成	交流・仲間
青少年対象事業	21講座	79回	3,640人	2	9	9	7	4			2	20
子育て世代対象事業	36講座	196回	7,887人	4	15	3	1	24			1	34
成人対象事業	68講座	301回	10,220人	12	38	13	1	38	3	30	6	41
総計	125講座	576回	21,747人	18	62	25	9	66	3	30	9	95

事業名	センター名 項目	中央	東	西	南	北	平石	清原	横川	瑞穂野	城山	国本	富屋	豊郷	篠井	姿川	雀宮	上河内	河内	計
		青少年対象事業	講座数	1	1	1	0	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	2	0
	実施回数	4	2	5	0	2	1	4	3	7	3	1	9	6	7	8	7	0	10	79
	延べ受講者数	103	47	134	0	33	10	106	78	836	62	23	519	304	609	404	197	0	175	3,640
子育て世代対象事業	講座数	2	3	1	4	1	2	1	2	1	2	1	4	2	2	1	1	2	4	36
	実施回数	12	18	6	25	6	15	4	10	4	17	4	11	10	9	5	5	10	25	196
	延べ受講者数	786	1,026	302	787	103	976	142	348	188	649	63	398	464	204	41	215	182	1,013	7,887
成人対象事業	講座数	2	2	5	6	4	6	1	3	2	1	3	2	3	3	4	3	6	12	68
	実施回数	14	17	31	24	22	16	4	15	4	1	11	6	14	14	15	15	28	50	301
	延べ受講者数	788	628	744	1,055	362	803	260	422	74	56	227	168	612	549	262	789	767	1,654	10,220
総計	講座数	5	6	7	10	6	9	4	6	5	4	5	8	6	6	6	6	8	18	125
	実施回数	30	37	42	49	30	32	12	28	15	21	16	26	30	30	28	27	38	85	576
	延べ受講者数	1,677	1,701	1,180	1,842	498	1,789	508	848	1,098	767	313	1,085	1,380	1,362	707	1,201	949	2,842	21,747

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

中央生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	若者ナイトセミナー	青年層を対象に、社会生活や仕事の上で役立つ知識を身につける学習機会を提供する。	市内に在住・通勤・通学の青年(18歳から35歳程度の人)	講義4回 計4回	11月	103人	・周知方法において、配布数だけではなく、配布先として大学、専門学校等に直接、ちらしを持参し担当者に協力を依頼した。 ・応募者が定員に満たない時には、対象年齢を超えた方をどの程度受け入れればよいかを再検討する必要がある。	・対象年齢を超えた応募者の方をどの程度受け入れればよいか、講師の先生とも事前の打ち合わせをする。	青少年
2	金曜まなび塾	・宇都宮市の行政を始め、幅広い視野に立ち学習することで、市政及び身近な問題への理解を深める。 講座受講でセンターに足を運ぶことにより、情報を収集でき、その他の講座の受講、サークル活動・行事への参加へと繋がる。	市内に在住または勤務している成人	講義5回 講義・実技2回 体験1回 実技1回 計9回	7月～11月	640人	・講師の先生と事前の打ち合わせの時に、実際に講座当日と同じ条件でスクリーンに試写してどの席からも見やすいか確認をした。 ・新規受講生の当選による継続受講生の落選の方への対応を配慮する。	・抽選方法、方針等を明確にする。	成人
3	市民運営講座 ふるさと伝統料理	宇都宮の伝統食や文化を学ぶとともに、仲間づくりをする機会の提供をする。	市内に在住または通勤・通学する成人	講義・実技5回 計5回	5月～7月	148人	・使用した会場の設備では足りず、長机や椅子等を運び込む必要があり、準備に手間がかかった。 ・講師と相談し、メニューに見合う材料費を設定した。	・募集人数に見合う規模の会場を準備する。	成人
4	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。	市内在住の乳幼児とその保護者	レクリエーション5回 レクリエーション・実技1回 講義・レクリエーション1回 講義1回 計8回	5月～12月	307組・643人	・講師のマイク不使用による聞こえにくさや、ハウリング、音量調節など、特にマイクに関する不具合が多かった。 ・今年度も父親参加の回を開催し、ダイナミックな内容になるよう講師に依頼した。	・音響機材とポータブルマイクを不具合が起こらないように調整して使用する。	子育て
5	親子のワクワク体験講座	親が子どもと一緒に体験や活動を通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換する機会を提供する。	小学生の親子	講義・実技1回 実技2回 体験1回 計4回	8月～9月	56組・143人	小学校低学年の参加が多いため、内容が難しくなり過ぎないように配慮したが、もう少し難易度をあげてもよかったと思う。	・親子で協力して達成できる難易度になるよう内容を考慮する。	子育て



平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

東生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	子ども国際理解サマースクール	グローバル化社会における国際理解には、さまざまな背景を持つ子どもたちが、ともに生活し、学習し、そのための新しい関係をどのように作るのかが大切である。このような観点から、具体的実践として①自分自身を知る②相手を認める③互いにかかわる④自分自身に誇りを持つ の視点から子どもが主体的に学習する。	市内在住の小学4～6年生	講義1回 講義・実技・レクリエーション1回 計2回	7月	47人	プログラムに昼食会を取り入れることでブラジルの子どもたちとの交流がより深まった。 市内小学校の夏休み開始日が多様化しており、開催日の設定に配慮が必要である。 受講生の食物アレルギーに配慮した昼食の提供。	開催日を見直し、小学校の夏休み開始日の多様化に対応する。 受講生の食物アレルギーの有無を早めに把握し、食物アレルギーに配慮した昼食を提供する。	青少年
2	すくすく子育て講座(前期)	乳幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図ると共に、レクリエーションを通して、受講生同士の交流を深め、仲間作りにつなげる。また、子育てに関する知識を身につける機会や子育てに必要な情報を提供し家庭教育力の向上を目指す。	市内在住の1歳から3歳児とその保護者	講義・実技1回 実技5回 計6回	5月～9月	181組・372人	受講希望者が多く、抽選となってしまう希望者全員を受け入れできなかった。 参加者の年齢の幅があり、人数が多いため、プログラムによっては進めにくいところもあった。	後期で定員を超えた場合、新規申込者を優先して抽選する 参加者を年齢によってコース分けし(1～2歳児コース、2～3歳児コース)発達段階にあったプログラムを作成する。	子育て
3	すくすく子育て講座(後期)	乳幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図ると共に、レクリエーションを通して、受講生同士の交流を深め、仲間作りにつなげる。また、子育てに関する知識を身につける機会や子育てに必要な情報を提供し家庭教育力の向上を目指す。	市内在住の1歳から3歳児とその保護者	講義1回 実技1回 講義・実技1回 講義・実技・体験2回 講義・実技・レクリエーション1回 計6回	10月～H25年2月	192組・398人	受講希望者が多く、抽選となってしまう希望者全員を受け入れできなかった。 参加者の年齢の幅があり、人数が多いため、プログラムによっては進めにくいところもあった。	後期で定員を超えた場合、新規申込者を優先して抽選する 参加者を年齢によってコース分けし(1～2歳児コース、2～3歳児コース)発達段階にあったプログラムを作成する。	子育て
4	親子でDoing	1 実験や体験をととして、親子のスキンシップを図ることと環境やものづくりについて学ぶ 2 仲間づくりの楽しさと豊かな心を育てる	市内小学3年生とその保護者	実技6回 計6回	5月～9月	128組・256人	土曜日の実施が定着し、父親の参加も増えてきている。一方、多くの参加者が期待される夏休みや秋口には、他のイベントとの重複が生じる傾向があることから、実施時期や期間を見直す必要がある。	3年生に進級し落ち着いた頃(初夏)から、夏休み前半頃までの短期間に集中的に講座を行う。	子育て
5	市民運営講座「ふれあい塾」	一般成人の方が豊かな生活を送る一助となるよう、歴史・文化・社会などの学習をする。 グループワークを行いながら、参加者同士の交流を深める。	宇都宮市内在住か通勤している20歳以上の人	講義1回 講義・ワークショップ5回 体験2回 計8回	5月～12月	391人	人気講座のため広い会場(ホール)を用意し、講座定員を上回る希望者全員(80名余)を受け入れたが、例えば館外学習ではバス2台で移動するなど、全員が一堂に会し話し合いを通して共通理解を深める上で課題を残した。	「参加」(=話し合いによる理解)を旨とする講座の本旨に支障のない受講者数で進めるようにする。 来年度についても、継続して生涯学習コーディネーターをサポートしていく。	成人
6	高齢者現代セミナー「東雲塾」	高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るために、知識・健康・レクリエーションに関する学習を行う。	市内在住か通勤している65歳以上の方	講義2回 講義・実技4回 講義・ワークショップ1回 体験2回 計9回	5月～12月	237人	体操・文学・歴史など、色々な分野の学習を取り入れた。また最終回のコンサートは公開講座とし、窓口での周知方法なども工夫した。館外学習はバスの都合上、真夏の時期になってしまったため、目的の達成に苦労した。	館外学習はバスの都合上、真夏になってしまいうちもあるが参加者の体調を考慮して無理のないスケジュールをたてることにする。	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

西生涯学習センター

通番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	夏休みチャレンジ教室	夏休みを利用して様々な学習や体験を通じて、創造性や思考力を培うとともに、仲間との交流を深める。	記載なし	レクリエーション・実技1回 講義・実技1回 実技3回 計5回	7月～8月	134人	申し込み時にアレルギーの聞き取りをした。プログラム内容も実技を多く取り入れた。対象学年が3年～6年なので工作で学年差個人差がでてしまった。	募集学年を4年～6年にする。(1年～3年は「親子でGO」にする)	青少年
2	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。	1歳～3歳の幼児とその保護者(市内在住)	実技6回 計6回	6月～12月	151組・302人	募集者多数の場合は抽選となることもあるとして募集をした。定員35組のところ応募者39組で全員に受講決定の通知を発送した。体を動かすプログラムを多くして子どもが飽きないように工夫した。	39組の参加は会場が狭く感じられる。定員の35組でも良かったと思う。休憩込みで1時間半くらいで終了するようにしているが、子供が飽きてしまうこともあったため、目や耳で楽しみながら楽しく体を動かすプログラムを多く取り入れる工夫をしたい。	子育て
3	西楽アカデミー	広く歴史や文学などの生きがいの学習のほか、健康や生活など現代において必要な知識・技能の向上等に関する学習を行うとともに、受講者同士の交流を深める。	市内に居住する成人	講義7回 実技3回 計10回	6月～12月	274人	実技・参加型のプログラムを増やした。申し込み多数の為抽選したが、事前キャンセルや欠席者が目立った。アンケート結果で館外学習の希望者が多かった。	キャンセル者や欠席者を少なくするために、充実した内容を企画し、講座周知の際に具体的な内容が掲載できるようにしていきたい。館外学習を取り入れたい。(バスの手配・開催時期を考慮する。)	成人
4	傾聴の基礎を学ぶ	傾聴についての基礎を学習することにより、家庭や地域で活用できるような知識を学ぶ	成人(市内在住・通勤)	講義・ワーキンググループ4回 計4回	H25年1月～2月	83人	4回の短期集中講座でボランティアを前面には出さない講座にしたが、野の花の会への入会を検討している受講者が4名いた。4回目は3人の講師で駆け足での講座になってしまった。	講座回数が、4回では少ない、7～8回なら良いという意見が多かった。社協の話は時間が無い中、広範囲の話になってしまったので傾聴ボランティアだけに絞ると良かった。	成人
5	市民運営講座(シニアいきいきアンチエイジング)	いつまでも元気で、脳と体と心に若さを保ち、毎日をいきいきと過ごすための学習や受講者同士の交流を深める。	50歳以上の方(市内在住・通勤)	実技・講義3回 実技5回 計8回	5月～12月	228人	コーディネーターとの協議を早期から開始すると共に協議回数を増やし、講座企画内容についてよりの確に指導を行った。講座受講の応募者は、ほぼ定員通りであったが、辞退者や欠席者がおり、応募された受講者数からみた出席率は平均70%に満たない状況であったことが課題にあげられる。	出席率を高めていくために、より魅力的な企画内容を早期に確定し、講座周知の際に具体的な内容が掲載できるようにしていきたい。	成人
6	いきいき実践男塾	定年退職し第2の人生を迎える方などが、家庭や地域の中で生きがいを持ちながら活動していくために必要な知識や技術等を学ぶ。	市内居住の成人男性	講義・実技2回 講義1回 実技5回 計8回	5月～12月	125人	類似した内容が多くなってきている。	新規の内容を多く盛り込みたい。	成人
7	リメンバー3・11 in とちぎ	改めて震災時の経験を振り返ることにより、参加者の防災意識の向上と継続を図り、安全・安心のまちづくりにつなげる。 参加者が震災について語り合うことにより、住民同士の絆や心のつながりを感じ取り、お互いに助け合いながら暮らしていくことの大切さを再認識する。	市内在住の成人男性	ワークショップ1回 計1回	H25年3月	34人	多くの受講者を確保すること。	西楽アカデミーやシニアいきいきアンチエイジングの受講者にも開催の案内をして受講を促す。	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

南生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	子育てお母さん応援講座	普段、母親として多忙な日々を送る女性たちが、家族との関係や自分の体、そして子どもとの向き合い方をもう一度見つめ直すことで、新たな気持ちで自分の環境と向き合い、子育てに前向きに取り組めるようにする。	市内在住の小学生の子どもを持つ母親	講義2回 実技1回 話し合い1回 計4回	6月～7月	38人	・受講者の確保。 ・講座全体のテーマの明確化、絞り込み。	・陽南地区以外の小学校、中学校へのチラシの配布、「こどもるっくる」への情報掲載依頼など、より広範囲への情報周知。 ・25年度は子育てにおける「傾聴」についてにテーマを絞り、「子育て傾聴講座」として講座を継続する。	子育て
2	初めて育児応援講座	初めて育児をする母親の育児への不安やとまどいを軽減し、同じ立場の母親と思いを共有することで仲間づくりや交流の機会を作る。	市在住の初めて子ども(0歳～1歳6か月)を持つ母親	講義1回 実技1回 話し合い1回 計3回	6月～7月	41人	・最終回において受講者の育児に対する疑問、質問に的確にアドバイスできるような助言者の確保。	・25年度は最終回に子育て相談員を招く。	子育て
3	”絆を深める”親子チャレンジ教室	親子で運動ゲームや料理などの体験を通して「親子の絆」と「仲間」づくりを目的に、自らが気づき主体的に行動することを目指す。	市内在住の小学1年生から4年生までの児童とその保護者	ワークショップ1回 体験2回 実技2回 レクリエーション1回 計6回	5月～12月	69組・181人	・受講者の確保。 ・”防災”に関しては、第2回の野外調理の回に「空き缶炊飯」を実施した。	・陽南3地区外の小学校など、より広い範囲のチラシの配布、情報の周知。	子育て
4	すくすく子育て講座【前期・後期・緑が丘】	親子のスキンシップを深め、生き生きとした親子関係を育み、交流する親子同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	市内在住の1歳6か月以上の子どもとその保護者	講義1回 実技4回 レクリエーション7回 計12回	6月～H25年2月	262組・527人	・より多くの親子への受講機会の提供。 ・子どもの転倒、子ども同士の衝突などへの配慮。 ・23年度の改善点については、24年度の事業企画段階で課題の抽出に至らず、24年度の講座に反映できなかった。	・前期と後期の重複応募を避け、より多くの親子に受講機会を提供する。 ・定員を30組にし(24年度後期から実施)子どもの安全を確保 ・前期、後期1回ずつ土曜日開催し、父親が参加しやすい回を設ける。 ・完全託児の子育て講演会を開催予定	子育て
5	絆再生プロジェクト「住めば住むほど宇都宮」	市民が、地域の力や絆の大切さに気づき、各々の持つ能力や経験を生かし、地域に根ざした活動を行うきっかけを作ることを目的とする。	20歳以上の宇都宮市民	講義3回 講義・実技1回 体験1回 実技1回 計6回	9月～H25年2月	159人	地域に密着したテーマの設定 60歳代の参加を増やす工夫	地域の課題をテーマとして取り上げていく。 対象としている年代を中心としたPRとしていく。	成人
6	シニア向けスマートフォン講座	高齢者が敬遠しがちなスマートフォンの基本的な操作や活用方法を、「基礎編」、「インターネット編」、「便利なアプリ編」に分けて学び、高齢者の情報格差の解消を図る。	60歳以上の宇都宮市民	講義・実技1回 計1回	H25年2月	24人	情報化社会(特にインターネットの利用についての危険性など)について総合的に学べる講座にする。	情報端末の操作性だけでなく、セキュリティ対策に特化した講座も設定する。	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

南生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
7	高齢者現代セミナー	高齢者が、その年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく、健康的で充実した生活を送るための知識を学び、健康・趣味・教養・レクリエーション等に関する学習を行う。	60歳以上の宇都宮市民	講義・実技回 講義2回 体験1回 計3回	6月～H25年2月	609人	救急医療の利用の仕方や悪質商法への対処の仕方などを学び、初回と最終回のコンサートで受講者が一緒に歌うコーナーを設け交流した。 円滑な運営の確保、受講者のニーズをふまえた開講時間の設定。	定員を適正規模とする。(ワークショップなどの運営を考慮し、定員減とした。)申し込み方法を特定の日時だけから、一定の期間とする。 開講時間を午前中に変更	成人
8	市民運営講座「郷土の歴史探求～奥の細道II～」	生きがいづくりを目的に歴史や文化の学習を通して、仲間との交流を深める	宇都宮市内在住か通勤している20歳以上	講義3回 計3回	6月～8月	138人	受講生間の交流をいかにしてつくれるか。	座学だけの講座ではなく、館外学習を取り入れ、班単位で行動する場面をとおして、密接な交流が可能となるようにする。	成人
9	市民運営講座「仲間と楽しく！男の料理講座V」	中高年男性の楽しく簡単な料理の体験学習を通じ、仲間づくり及び生涯学習の新たな動機付けを行う	市内在住の中高年	実技5回 計5回	10月～H25年2月	110人	調理器具の性能の向上と什器類の適正管理 健康意識の高まりへの対応 現役世代の参加	破損や汚れの激しい什器類、経年劣化により機能を発揮できない調理器具は順次買い換えていく。 料理のカロリーを講師と連携して表示していく。 一般的な広報に加え、地域内の小中学校の協力を得て、PTAに対してチラシを配布していく。	成人
10	カラー講座	自分に合ったカラーを知って就活や婚活に役立てる。	宇都宮市内在住か通勤している20歳以上	講義・体験1回 計1回	H25年2月	15人	想定していた年代の参加 顕在化した新たなニーズへの対応	共同作業があり、コミュニケーションが生まれる内容の講座(25年度は料理)を実施する。 特に女性の関心が高い内容の講座も検討していく。	成人

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	想いを語る～人はみんな母から～	母のことを語り聞くことで、話し手と聴き手との思考、感性の響き合いを目指す	市内在住または勤務している成人	講話3回 講義2回 計5回	9月～11月	59人	受講生が定員に達しなかったため、周知の方法など早めに対応	今年度と同じ学習目標の講座であれば受講生の参加希望が見込めないため。	成人
2	聴いて読む名作パート2	聴覚を通して名作を味わうことで活字だけで読んでいた時とは違った発見があり知っている作品でもとても新鮮な新たな感動を得る。同じものでも、受講生によって様々な感じ方があることに気づき、作品の深さを知る。	市内在住または勤務している成人	講義3回 計3回	6月～7月	31人	今回は受講生一人一人が意見を発表できる時間が設けられたが、この人数を超えると一部の受講生だけか朗読や意見時間が設けられないので、講座内容、運営の時間に工夫が必要	特になし	成人
3	北洲塾	現代社会の課題について学びあい、知識を深め、地域社会への参加の輪を広げる。健康でより豊かな人生を送ることを目的とする。	一般成人	講義5回 体験2回 レクリエーション1回 ワークショップ2回 計10回	5月～12月	219人	生活に密着した講座が多かったが、興味を持つ人と持たない人がはっきり分かれてしまったので、より多くの人に興味を持てるように工夫したい。	特になし	成人
4	市民運営講座 健康一番！セカンドライフ	体操を通してコミュニケーションを図る。 宇都宮の歴史や文化を学ぶ。 地域の施設、企業を見学し、地域の素晴らしさを学ぶ。 地域で活躍する方から活動の楽しさを学ぶ。	50歳以上のシニア世代	講義・体験1回 実技3回 計4回	6月～7月	53人	定員割れのない魅力ある講座を企画する。	特になし	成人
5	青少年リーダー養成講座	21世紀を担う青少年を対象に、自分の生活している地域以外の宇都宮の産業、歴史、環境について、体験学習を通して、自分の地域を見つめ直すことにより、協調性・たくましさ・思いやりのある豊かな人間性や社会性を育み、地域のリーダーとしての資質を養う。	小学校高学年の児童	体験1回 ワークショップ1回 計2回	8月	33人	生涯学習コーディネーター・青少年育成会との連携のもと企画したが、小学校児童を引率しての1日3ヶ所の見学になり、たいへん勉強になる施設ばかりであったが、参加者・引率者ともに厳しい日程となってしまった。	記載なし	青少年
6	子育てママのセンスアップ講座	子育て真っ最中のママたちは、母親であると同時に妻であり女でもある。夫婦間のいい関係を継続しつつ、家計を守る経済的知識、食を通して美しく年を重ねる方法など、他方面にわたる学習を通して、心の健康を保ち、子育てを楽しむようにすると共に、終了後のサークル立ち上げを支援する。また、併せて前年度の「ベビーシッター養成講座」修了生に、保育を実践してもらおう場を提供する。	子育て中の母親(主に乳幼児を持つ母親)	講義・ワークショップ1回 講義・実技1回 実技1回 ワークショップ3回 計6回	6月～7月	103人	託児つき講座の場合、受講生全員の託児に対応できるように、託児ボランティアの予算を組むことが重要	子育て世代対象事業としては、25年度は母親だけでなく家族全員が参加できる講座を企画したため	子育て

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

平石生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	少年ふるさと教室	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。	地区内の小学生	実技1回 計1回	8月	10人	地区内小学校の全児童数が250人しかおらず、これ以上の参加者数の増加は難しい。	青少年対象事業を統合し、集中した講座の開催を目指す。	青少年
2	家庭教育セミナー	子どもとのふれあいと、明るい家庭作りについて学習する。その中で、地域との連携を深め、のびのびと子どもの育つ社会を参加者全体で意見交換などを交え考察する。	一般成人・小学生	実技3回 計3回	6月～10月	51組・137人	平日開催の講座もあり、集客が難しかった。内容を再度検討したい。	各小学校とのFTA研修部と共催として意識の向上を目指し、企画・運営・準備にも積極的に参加してもらい、ニーズに応じたセミナーを開催していきたい。	成人
3	宇都宮の天祭行事と天棚講座	宇都宮の歴史を学びながら平石地区の歴史と良さを再発見する。	地区内の成人	講義・実技1回 計1回	11月	60人	地区内の貴重な文化の展示・講演会を行なうことで、次世代へ繋ぐ糸口ができた。また、実際に組立てられた天棚を見ることで、更なる学習意欲を深めることができた。	平石地区内の文化財の伝承。成人対象事業の一部を「大人の教養講座」として統合。	成人
4	高齢者友遊教室	高齢者の地域における活動を活性化させ、地域活動への積極的な参加意識を啓発する。プログラムの中で昔遊びなどを取り入れ、異世代の交流を持つ。	地区内に居住する60歳以上の方	レクリエーション4回 講義5回 計9回	5月～H25年2月	520人	講座によっては参加人数が少なく、ニーズに応じた講座の開催を検討していきたい。	参加者にアンケートなどを実施し、内容を検討していく。	成人
5	高齢者指導者研修	施設等の見学により、より一層の教養や見聞を深め、地域の指導者として資質を高めることを目的とする。	地区内に居住する高齢指導者	体験1回 計1回	6月	38人	老人クラブの方が計画の段階から積極的に参加してくださり、内容が充実したものになった。高齢者が対象の事業なので、バスから施設までの移動時間など、参加者に配慮した内容を検討したい。	事前に現地視察などを行い、内容を検討する。	成人
6	女性指導者研修	他地域の生活文化に触れることにより、教養、見聞を深め、地域内をより活性化させ、また情報交換を通して地域の指導者として質を高めることにより、明るいまちづくりの契機とすることを目的とする。	地区内に居住する女性指導者	体験1回 計1回	5月	38人	早い時期から行程を検討し、事前に視察を行うなどしたため、内容が充実したもとなった。	次年度も早い段階から内容を検討し、充実した内容にする。	成人
7	10万時間の過ごし方講座	一日の睡眠時間を除いた残りの14時間を自由時間として考えた場合、60歳から80歳までは10万時間となり、総労働時間にも匹敵する。その時間を充実して過ごすため、新しいことへのチャレンジを応援するプログラムである。	地区内の定年を迎えた団塊世代	講義1回 計1回	H25年2月	10人	まちづくりを担える人材を育成する講座が必須である。	成人対象事業の一部を「大人の教養講座」として統合	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

平石生涯学習センター

種番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
8	親子のひろば「はくはく」	親同士が交流を図ることや、ボランティアが話し相手になることで、親に精神的な安心感をもたらし、問題解決の糸口となる機会を提供し地域の子育て支援機能の充実を図る。	乳幼児(0から3歳)とその親	レクリエーション7回 講義3回 子育て支援(毎週火曜日開催)	4月～H25年3月	418組・911人	実技・鑑賞・講話など、変化に富んだ事業を行ったため、はくはくプラス講座は毎回大変好評であった。	対象年齢に幅があるため、より活動充実した活動を行なうには同年齢を対象に行なう。	子育て
9	親子ふれあい講座	乳幼児に必要な遊びや体操を親子で体験し、子どもへの関わり方も一緒に学ぶ。	2歳から3歳の幼児とその親	講義・レクリエーション4回 計4回	7月	65組・65人	親子一緒に体操を行なうことで、親子の関わり方、成長を促す身体作りについて身につくことができた。	H25年度も親子一緒に活動することで子どもへの関わり方を学ぶ。	子育て

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

清原生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	地域農産物で結ぶ地域の輪	子育てボランティアとして地域活動を展開しているグループの会員とその子を中心に、地域農産物の周知を図るため、地元の農産物生産者を講師に迎え安心安全な農産物を用いた料理教室を行なうことにより、地産地消を通じた地域づくりを推進する。	小学生の児童とその親	実技1回 計1回	H25年3月	12組・25人	1回の受講人数が限られるため、次年度は今回経験したボランティアグループと協働し複数回開催する。	特になし	青少年
2	自然体験遊び塾	将来を担う子ども達を対象に、専門の講師を招き、自然体験活動等を通して自然のすばらしさを体感させるとともに、仲間作りの楽しさや大切さを学ぶことを目的として実施する。	清原地区内の小学生	体験・実技・レクリエーション1回 体験・実技1回 実技1回 計3回	7月～H25年2月	13組・81人	地域の子供達が地元のことをよく知らずに大きくなっていくため、地元密着型の講座内容とする必要がある。	地域内の栃木県農業大学校をはじめ、地元の各団体に協力してもらい、農作物の収穫体験や自然とのふれあい活動など地域のことを学ぶ事業に力を入れ、学習内容の一部見直しを行う。	青少年
3	出前講座	地域住民の多様な学習のニーズや地域課題解決のため、学習機会を提供することにより、地域の生涯学習活動を推進するとともに、地域づくりに対する関心や参加意識の向上を図る。	地域内住民	講義3回 講義・体験1回 計4回	7月～H25年3月	260人	特になし	特になし	成人
4	親子ふれあい教室	幼児期に必要な親子遊びを体験しながら、母親同士のネットワークをつくり情報交換をする。	地域内に居住する1歳6ヶ月～未就園児とその親	実技・講義1回 実技3回 計4回	7月～H25年2月	71組・142人	特になし	特になし	子育て



平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

横川生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	親子で絵本とわらべうた	乳幼児期に受けた家庭での読み聞かせの経験は、その後子どもの読書習慣に大きく影響する。読み聞かせの手法や本選びを学び、わらべうたによる手遊び・歌遊びで子どもとのスキンシップを図るとともに、親同士の交流も支援する。	地区内の乳幼児と保護者	講義・実技3回 計3回	6月～7月	42組・84人	講師への評価は大変良い。対象年齢別で3回開いているが各回、定員割れになってしまった。チラシ紙面の工夫や配布時期等を早める等効果的な方策を検討する必要がある。	参加者から好評であるので継続して事業を実施する。今後とも乳幼児健診時にチラシを配付を行うほか、早期に窓口での配付を行うなど、参加しやすいような工夫を凝らしたい。	子育て
2	子育て広場	親子でリズム体操やレクリエーションを行い、幼児の情緒を豊かに育み、友達づくりや親子のスキンシップを図るとともに、親同士の交流を通じて子育て世代の支援を図る。	地区内の乳幼児と保護者	レクリエーション・ 実技7回 計7回	6月～10月	132組・264人	応募状況に合わせた会場レイアウトや講座内容等を講師と相談のうえ、今後も多くの親子が参加できる講座としていきたい。	次年度より、子育て相談とバルーン遊びを組合わせた内容を全7回中、1回開催予定。	子育て
3	ことぶき塾	高齢社会におけるライフサイクルを展望した生活設計や、身近な問題を学び、健康で生きがいのある生活を促進する。	横川地区にお住まいの60歳以上の方	講義5回 レクリエーション3回 計8回	6月～H25年2月	280人	冬期に風邪などの体調不良により、出席者の減が見られたことから、1月までに講座を修了することでスケジュールを調整したい。	平成25年度地域学講座「まるごと横川」と連携するような館外学習を企画したい。	成人
4	まるごと横川	本年度、横川地区のすばらしさ(旬の野菜・いちご、宮牛などの豊かな食資源や文化財等)を改めて見つめ直し、受講生が地域に魅力と誇りを持ち、そのすばらしさを内外に発信できるようになること	地区内の一般成人	講義・実技3回 計3回	5月～7月	60人	1年間の開催だけでは、地域全体の魅力を把握することはできないので、継続的に実施する必要がある。地域の魅力を発見すること、まちづくりに繋げていくこととの意識の隔たりを埋めることが課題である。	平成25年度においては、横川地区における地域学講座として位置づけ、引き続き開催し、当地区の魅力を学習し、地域とジョンの策定に向けた機運の醸成を図る。	成人
5	食育講座	身近な食材を利用し、健康的な食生活を送るための献立・調理を通して食に関する知識を深める。	地区内の一般成人	実技4回 計4回	6月～H25年2月	82人	身近で旬の食材を多品目にわたって使用し健康に配慮した献立を検討すると共に、引き続き男性受講者の参加促進を図る。	次年度の開催は、今後とも四季折々の地区内産の食材を使用し、より身近で、豊かな食生活の魅力を提供していく。	成人
6	夏休みチャレンジ教室	ものづくりなどの体験学習を通じて、つくる楽しさを実感することで豊かな情操や社会性を育てる。	地区内の小学生	レクリエーション1回 実技2回 計3回	8月	78人	地区市民センターを会場とした「ホンダのASIMO」と宇都宮大学の工作が人気であったが、館外学習(なかがわ水遊園)の参加者数が少なかった。	男女の参加比率はやや改善したが、館外学習のあり方を見直し、今後のものづくり講座の企画を組み立てたい。	青少年

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

瑞穂野生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	なかよし親子のひろば	音楽に合わせて体を動かし、親子の絆を深めると共に、想像力や協調性を育て、自己表現力を養う。	瑞穂野地区居住の2～3歳の幼児と保護者 各回:25組	レクリエーション4回 計4回	6月	96組・188人	定員より多くの応募があったが、欠席者を見込み30組受付した。今後ともより多くの親子が参加できるよう、開催日や事業内容等を検討していきたい。	申込みを先着順にしたが、地域の回覧の日数がまちまちであるため、定員(30組)になった後にも多くの応募があった。抽選にするか、予算に余裕があれば、講座数を増やす。	子育て
2	各種団体研修	瑞穂野生涯学習センター各種団体(利用団体)の活動を活性化させ、仲間づくりや各種団体相互間の交流と情報交換、そして地域づくりのリーダーとしての資質の向上を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	体験1回 計1回	8月	39人	参加者のニーズに応えるだけでなく、地域のリーダーとしての勉強になる研修内容を検討する必要がある。	各種団体の活動をさらに発展し、地域でも活躍できるような学習内容の充実を図っていきたい。	成人
3	自分発見講座	24年度は陶芸を学び、新しい自分に気づき、自身を磨きながら仲間づくりをし、地域デビューのきっかけをつくる。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	実技3回 計3回	8月～10月	35人	地域の実情に合うよう、平日午前の開催にしたが、月一度の講座であったため、開催日を忘れて欠席する人がいた。仲間づくりにまで至らなかった。	開催時期・時間の設定の配慮が必要である。	成人
4	少年ふるさと教室	郷土の伝承、文化、自然に関する学習活動と、地域内他校との連帯感や異年齢との交流及び郷土愛の精神を深める。	瑞穂野地区内居住の小学校児童と保護者	レクリエーション2回 体験・実技1回 計3回	5月～H25年1月	667人	地域全体の恒例事業なりつつあり、今後ともより多くの方が参加できるよう事業内容等を熟慮していきたい。	共催である青少年育成会と事業内容について検討する。	青少年
5	親子チャレンジ教室	親と子のふれあい、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場や学習の場を提供し子育ての一助を図る。	小学生と保護者	実技3回 体験1回 計4回	7月～12月	75組・169人	申込みを先着順にしたが、地域の回覧の日数がまちまちであるため、定員になった後に応募が多かった。	募集を先着順でなく抽選にするか、講座数を増やす。	青少年

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

城山生涯学習センター

番号	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	ともそだち広場	幼児が心身ともに健やかに成長できるよう、子育てに必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につけ、親子のふれあいを深めるとともに、親子同士のネットワークを図る。地域住民等の様々な形での参画や青少年の体験学習・社会体験の場としても開設することにより、連携意識の高揚や地域保育力・教育力の向上を目指す。	市内に住む0～3歳児程度の乳幼児とその保護者	レクリエーション1回 その他鑑賞・参加1回 計12回	4月～H25年3月	278組・608人	特になし。	現状維持し、受講者が継続的に参加出来るよう努める。	子育て
2	家庭教育学級	家庭における子どもの教育を行う上で必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につける。また、地域のリーダー的人材の育成を目指す。	城山地区内小・中学校の保護者	講義2回 実技3回 計5回	5月～H25年1月	41人	小・中学生の保護者(母親)を対象とする講座であるが、就労等で家庭にいる母親は少ない。また、夜間・休日にも多忙な状態で参加者が減少の一途をたどっている。	来年度、内容を変え実施し、受講者が減少するようなら、今後の方針を検討する。	子育て
3	冒険キッズクラブ	・異世代間交流や体験学習を通して、地域の人たち等とのふれあいを深め、子どもたちが健康で豊かな心を醸成すること。 ・親の子育てに係る意識や技術の高揚、親子同士のネットワークの構築、地域づくりへの関心の喚起を目的とする。	城山地区内及び城山地区周辺の小学生とその保護者	実技3回 計3回	6月～12月	27組・62人	調理実習室の収容人員の関係で募集数を限定したため、お断りした希望者がいた。	希望者を可能な限り受け付けられるような態勢づくり(実施回数の増加等)	青少年
4	ヒト・マチづくり講座	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行う。また、実践的な活動を通して、総体的にまちづくり意識の高揚を図る。	城山地区内の住民	講義1回 計1回	11月	56人	特になし	記載なし	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

国本生涯学習センター

種番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	生き生き健康教室	高齢化社会に向けて、健康に関する知識の修得や健康づくりのための実践方法を体得することで、地域住民の健康増進を図る。	地区内在住の一般成人	講義・実技1回 実技4回 計5回	6月～8月	118人	毎回、参加される方が決まっており、そこに毎年新規参加の方が増えていくような状況である。	定員を増やして開催することとなったが、今後も定員を超えるような場合には募集方法(初回受講優先等)の見直しが必要。	成人
2	びびっとレディース教室	女性がより生き生きと地域で輝けるよう支援し、女性のためのスキルアップ講座をシリーズで実施する。	地区内在住の一般成人女性	実技3回 計3回	11月～12月	33人	各回、継続して参加する人が少なく、興味のある講座への偏りが見受けられた。	講座内容の見直しや、募集要項の見直し(シリーズ参加のお願い等)が必要。	成人
3	10倍楽しむ国本塾	地区内の歴史遺産について学び、地元の歴史を探求するきっかけとする。	地区内在住の一般成人	講義2回 体験1回 計3回	7月～H25年1月	76人	特になし	特になし	成人
4	親子ワクワク教室	親子で体を使って楽しく遊びながらスキンシップを高め、子育ての楽しさを知る。また、健康や食育に関する子育ての知識を習得することで、親力の向上に繋げる。	地区内在住の未就園児とその保護者	講義1回 実技2回 実技・講義1回 計4回	7月～8月	30組・63人	参加者が少なかった	講座の開催時期及び内容の見直しが必要。	子育て
5	くにもとyou・遊・club	他校児童や親子の交流の機会を作り、様々な体験活動等を通して、子ども達の思いやる心や信頼する心など、生きる力を育む。	地区内在住の一般成人	実技1回 計1回	7月	10組・23人	昨年と同様、地域や学校の行事と重なってしまい、2回目の講座は参加者がほとんど集まらず、開催できなかった。	開催日時や講座内容の見直し検討	青少年

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

富屋生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を進め、お互いの親睦を図り、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、あわせて伝統文化や自然に関する学習機会を提供し、健全育成に資することを目的とする。	富屋地区の小学生	講義1回 体験2回 実技3回 計6回	7月～H25年1月	487人	小学校や地域在住の文化財調査員等と連携した講座運営ができた。	さらに各種団体や地域の人材を活用した講座運営に努める。	青少年
2	子ども科学教室	子どもたちが自ら考え、新しい面白さを発見できる実験を通して、科学に対する好奇心を高める。	富屋地区の小学生	講義・実技1回 講義・体験2回 計3回	9月～H25年2月	32人	夜間の講座(スターウォッチング)の参加者が少ない。	内容や方法について、見直す必要がある。	青少年
3	家庭教育学級	子どもたちが自ら考え、新しい面白さを発見できる実験を通して、科学に対する好奇心を高める。	富屋地区に居住する子どもを持つ両親及び家庭教育に関心のある人	講義・実技1回 実技1回 計2回	9月～H25年2月	68人	内容についてのアンケートを踏まえて講座を実施した。	小学生を持つ親の参加がほとんどであるため、親子体験型の内容も取り入れていく。	子育て
4	富屋ママたち広場	乳幼児とその保護者を対象に子育ての交流や遊び、学習を通して、親子のスキンシップを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	富屋地区内の就園前の乳幼児とその保護者	講義・実技4回 計4回	6月～9月	69組・170人	継続して地域団体の協力を得てボランティアを確保することができた。今後は参加者が地域活動に参加するよう働きかけていく。	ボランティアに対して参加者から感謝を述べる機会を設けた。参加者と地域団体の結びつきをより強化し、将来的に参加者が地域で活動するよう促していく。	子育て
5	ゆるりん子育て親育ち	就学前の子どもを持つ保護者を対象に、子育ての悩み等について話し合いを行い、それぞれの親が自分に合った子育てについて学び、親が自信を持って子育てができるよう支援を行う。また親同士のネットワーク作りを促進し、家庭・地域における子育ての力の向上を図る。	市内在住の就学前の子どもの保護者	ワーキンググループ4回 計4回	6月～7月	40人	市保育士OBをボランティアとして依頼するなど、新たなボランティア確保ができた。参加者の子どもの年齢が低年齢に偏ってしまった。	他の保健福祉事業の参加者に声をかけるなど、様々な機会を捉えて受講者確保に努める。	子育て
6	高齢者教室	高齢化社会の到来により、真に豊かで生きがいのある長寿社会を築くため、新しい知識を学び、趣味や教養をつける。	富屋地区内の高齢者	体験1回 実技1回 講義・実技2回 講義1回 計5回	6月～H25年2月	134人	地区老人クラブと連携して企画することで、学習ニーズをより把握することができた。受講者のさらなる積極的な関与が必要である。	地区老人クラブとの連携を強化するとともに、受講者にも働きかけていく。	成人
7	子どもと親のためのクラシックコンサート	「ゆるりん子育て親育ち講座」修了生の自主活動及び地域への還元活動として実施するとともに、講座修了者及び地域住民の教養を高める。	平成24年度「富屋ママたち広場」「ゆるりん子育て親育ち」受講者及び富屋地区住民	鑑賞1回 計1回	H25年1月	120人	「ゆるりん子育て親育ち講座」修了者が中心となって企画・運営したものである。今後は継続的に活動できるよう支援していく。	特になし	子育て
8	健康づくりハイキング	ハイキングを通じて健康増進と地域住民の交流を図ることを目的とする。	富屋地区に居住する住民	体験1回 計1回	5月	34人	幅広い年齢層が参加できるよう、比較的平地のコースを設定した。	特になし	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

豊郷生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	子育て広場	親子のふれあいを深めるとともに、参加者同士の交流を図り仲間づくりにつなげる。	市内在住の乳幼児とその保護者	レクリエーション5回 レクリエーション・実技2回 計7回	5月～12月	200組・414人	1・2月は風邪によるキャンセル者が多かったため、12月までの実施とした。読み聞かせは対象年齢によって飽きてしまう子がいる。	座ったままで飽きてしまう子もいるので、途中、体を動かす遊びを取り入れるなど内容を検討する。	子育て
2	親育ち講座	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、親の子育てに対する自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	市内在住の1～3歳児を持つ保護者	講義・ワークショップ2回 講義・実技1回 計3回	6月～9月	50人	23年度は1回単発の開催であったが、24年度は3回の連続講座とし、情報交換の時間を設けた。母親のみで父親の参加がなかった。	働いている保護者が参加しやすい土日の開催を検討する。	子育て
3	まほろば探検塾	地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	豊郷地区内に在住の60歳以上の市民	講義3回 体験1回 計4回	6月～10月	139人	館外学習の見学場所を事前に見し、バスの駐車場所や歩く距離を参加者へ伝えるようにした。豊郷地区の歴史に関する部分が少なかった。	地区の郷土誌を活用したプログラムを検討する。	成人
4	とよさと元気塾	高齢社会の進展するなか、豊かで潤いのある人生を送るための教養や知識を身に付け、受講生同士の交流による仲間づくりを図る。	豊郷地区内に在住の60歳以上の市民	講義2回 講義・実技2回 実技・体験1回 実技1回 計6回	5月～11月	427人	アンケートを実施し、要望が多いプログラムを取り入れるようにした。「内容が難しい」と途中で帰った人がある回があった。	ニーズにあった幅広い内容で企画するとともに資料等を活用していく。	成人
5	災害ボランティア養成講座	防災学習を通し、住民のコミュニティ意識や連帯感を育て、安心安全なまちづくりを目指すとともに災害時のボランティアを養成する。	市内在住の成人	講義2回 講義・実習2回 計4回	9月～12月	46人	1コマ2時間で実施したが、実習中心のプログラムは時間が足りなかった。	受講者の理解は深まったが、講座として開催するには十分な時間を確保できなかったため廃止とする。日赤や社会福祉協議会など、他機関で実施している講習会を利用してもらう。	成人
6	わくわく体験教室	日頃学校ではできないような体験型の学習をおし、子どもたちの生きる力を培うとともに、学校、学年、学級を越えた仲間づくりを図る。	豊郷地区内小学校の3～5年生	講義・実技2回 実技・体験2回 実技2回 計6回	5月～11月	304人	低学年でも興味のある内容とするためアンケートを実施しプログラムに取り入れた。学校の行事と重なってしまった日は参加者が少なかった。	地区内4小学校の年間行事を確認するとともに、参加者に変動があっても差し支えない内容を検討する。	青少年

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

篠井生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	ボランティア指導者研修会	地域内にあるボランティア4グループが一同に会し、他施設の活動状況を研修すると共に、指導者としての資質を高める。	地域一般成人	講義・体験1回 計1回	11月	21人	時間の都合上車中で意見交換を行い意義ある研修会となった。 今後も地域にあった様々なボランティア研修会を継続実施していく必要がある。	地域で活かせる様々なボランティア研修会を企画実現していく。	
2	家庭教育学級	家庭教育における子どもの教育をおこなうために、考え方や育て方についての知識や技術を身につける。	地域内の小学生を持つ保護者又は家庭教育に関心を持つ人	実習2回 体験1回 講話・実習1回 計4回	6月～10月	121人	開催日を日曜日とし、父親と一緒に取り組める作品製作とした。 親子のコミュニケーションは図れたが、家庭教育に本来必要な子育て講話の開催ができなかった。	次年度のプログラム作成にあっては、現代的課題を含んだ講話等を取り組むことが望ましい。	
3	高齢者教室	自らが日常生活において自立し、これまでに習得した技能を活用し地域社会に主体的に社会参加をし、生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける。	地域内高齢者	講義3回 実習3回 体験2回 レクリエーション2回 計10回	6月～H25年2月	473人	高齢者への福祉サービスなど、理解がなされた。また、世代間交流にあっては、全学年との交流が深められた。 内容によっては、出席者が少ないことから実施会場を考えることも必要。	健康上から、会場まで足を運べない人もいるところから、自治公民館の施設で出前講座を実施する計画を立てる。	
4	親子のふれあい教室	親子と一緒に様々な内容を行うことにより、親子の絆を深めると共に受講生同士の交流を図りながら友達作りの一助とする。	就学前の幼児とその親	講義・レクリエーション5回 計5回	6月～10月	41組・83人	内容によっては開催日を日曜日とし、父親と一緒に取り組める内容とした。 しかし兼業農家が多く日曜日の開催となると参加者が少なかった。	更にプログラムの検討をし、地域内にある教育機関や福祉施設等と連携を図りながら実施する。	
5	地域力アップ教室 PAPT3	学習をした変わりうどんの内・ゆず・トマト・りんごの3種類についてを地域内住民に対して大試食会を開催するなど、食を通じた地域活動や交流が図られた。	地域一般住民	実習・講義3回 計3回	7月～9月	65人	学習をした変わりうどんの内・ゆず・トマト・りんごの3種類についてを地域内住民に対して大試食会を開催するなど、食を通じた地域活動や交流が図られた。	当初の目的達成と成果品も出来上がったことから、新たな事業を考えていく。	
6	少年ふるさと教室	郷土の伝承、文化、自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通じ、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、豊かな郷土づくりを図る。	篠井小学校在籍児童	講義2回 実習4回 体験1回 計7回	8月～H25年2月	609人	育成会・学校と連携し、対象者に対する周知・募集が出来、多くの方に参加してもらった。 星座観測会は、冬季夜間の開催のため、参加者が少なかった。	引き続き育成会・学校と連携し、一人でも多くの方に参加してもらえよう周知の徹底・募集を図る 参加者が少なかった講座においては、開催時期や募集方法、講座内容を工夫する。	

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

姿川生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	版画教室	当地区ゆかりのある版画家で詩人でもある「川上澄生」については、あまり知られていないことから、当地区市民センターで「版画教室」を開催することにより、この地区が生んだ文化人としてPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	一般成人	鑑賞・講話1回 実技3回 計4回	12月	44人	実習時間7.5時間(3日間)では、時間がたりなかった。	午後の時間を自由時間にして対応した。	成人
2	姿川ふるさと教室	郷土の伝承・文化自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通じ、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域への情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。	一般成人	実技4回 体験2回 講義・実技2回 計8回	6月～12月	404人	人数が多いため、工作等が完成せず中途半端になってしまった。内容がマンネリ化している。	地域に見合った企画を考え、参加しやすい内容と日程を検討する。	青少年
3	親子ふれあい教室	3歳という大切な時期に、親子のスキンシップを通して、いきいきとした親子関係を産むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークのい推進を図る。	地区内の親子	実技5回 計5回	8月～10月	41人	子育てサロンで親子ふれあいの支援講座を行なっているため、参加人数が少ない。	同じ様な講座を子育てサロンで行なっているため、来年度は親子ふれあい教室は、廃止とする。	子育て
4	パソコン講座	初心者を対象に、パソコンの基本知識を習得し、オリジナルの年賀状を作成しパソコンの操作になれ、受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。	一般成人	実技5回 計5回	11月	75人	パソコン教室については、5日間という短い期間なので、講座終了後に受講者が自主学習(サークル活動)を継続的にできるよう説明(既存団体への加入や新規団体登録等)しているが、当センターは利用団体が多く、新規団体は、日程調整及び部屋の確保(定期的)が難しく、レベルの差があるため既存団体への新規加入が難しいので、生涯学習の継続には若干課題がある。	特になし。	成人
5	シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーションを通じて、年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに、受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。	60歳以上の男女	講義・実技3回 体験1回 その他1回 計5回	9月～10月	131人	全体を通して、出席率が高く・概ね好評だが、参加者は女性が多く男性が参加しやすくする事、リピーターがおおいので新規に参加者が参加しやすい様にする事が今後の課題。	特になし。	成人
6	男の料理教室(地域まちづくり人材育成講座)	健康的でバランスの取れた食事づくりを学び、講座を通じ受講生同士のコミュニケーションを図り、食生活の中から地域の健康に関わる事業及び団体に参加できるきっかけづくりとなることを目的とする。	一般成人	実技1回 計1回	H25年1月	12人	地域活動団体へ参加するきっかけづくりとして、住民の関心の高い「食生活改善講座」を実施したが、周知が遅れ定員に満たなかった。	まちづくりの観点から、人づくりはより一層必要であるため、必要な講座を企画段階から地域と協働で検討し、早期に周知する。	成人



平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

雀宮生涯学習センター

種別	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	さわやかライフセミナー	現代社会を生きるための情報を得て、学ぶ楽しさや自己向上を図るとともに、仲間づくりや地域参加の促進を目的とする。	雀宮地域内の一般成人	講義3回 実技2回 体験1回 講義・実技1回 計7回	6月～12月	285人	現代社会を生きるための情報を得て、学ぶ楽しさや自己向上を図るとともに、仲間づくりや地域参加の促進を目的とする。	昨年度の講座終了時に実施したアンケートでの要望を取り入れた学習内容にする。	成人
2	ひまわり学級	豊かな経験を引き続き社会に活かし、新しい知識や趣味を会得することで、健康で生きがいのある人生を送るために必要な知識や技術を学習する。	雀宮地区内の60歳以上の方	講義3回 体験1回 レクリエーション1回 計5回	7月～12月	350人	参加者も多く、好評であった。次年度もより高齢者に適した内容で実施する。	高齢者の生きがいづくりに役立つ内容にする。	成人
3	雀宮ものづくりスペシャル	地域特性を活かし、ものづくりや体験学習をとおして、知識・技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップ精神を育む。また、同世代の『絆』をつなげ、連帯感など地域づくりの礎を築く。	雀宮地区内の小学4年生から6年生	体験2回 計2回	8月～H25年3月	50人	参加者の保護者から子どもと一緒に参加したいとの意見もあり、講座内容の検討を要する	地域を学ぶ機会、親子の絆づくりも考慮した講座内容を検討する	青少年
4	親子ふれあい広場	親と子のふれあいを通して、親子の絆を深めるとともに、他の親子との交流を深め、よりよい子育ての知識と技能を身に付け、家庭教育力の向上を図る。	雀宮地域内の未就学児とその保護者	レクリエーション2回 実技1回 講義2回 計5回	6月～10月	90組・215人	今年度は、鑑賞会を2回実施したが、親子で体を動かすリミック等の回数を増やして欲しいとの意見が多かった。	鑑賞を少なくし、リミックやゲームをより多く取り入れる。また、親同士や子ども同士の交流も増やしていきたい。	子育て
5	雀宮学	雀宮地域の歴史を学ぶことにより、地域文化への理解を深める。栃木の民俗・文化を学びながら雀宮地域を改めて考えるきっかけをつくる。	雀宮地域内の一般成人	講義2回 体験1回 計3回	10月～11月	154人	地元の歴史についての学習意欲が高い参加者が多い。参加者がより期待できる内容にしていく。	特に史跡めぐりは参加者が多いため地域を変えて継続していく。	成人
6	青少年セミナー教室	自然に親しむ活動などを通して連帯感や責任感を養い、リーダーシップを発揮できる人材育成を図ることを目的とする。	雀宮地区内の小学校に通学する4・5・6年生	レクリエーション1回 実技3回 体験・レクリエーション1回 計5回	7月～12月	147人	チラシの工夫等で参加人数は増加したが定員には満たなかった。いろいろな体験ができ、また他の学校に通う友達ができたこと好評。	周知の方法を更に工夫する。宇都宮大学でのものづくり講座は保護者にも好評であるため継続していきたい。	青少年

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

上河内生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	ふれあいパソコン教室	情報化社会に対応するため、幅広く市民に情報通信技術を学習する機会を提供する。	市内在住・在勤の一般成人(8月開催のみ 小学生対象)	実技6回 計6回	6月～H25年2月	243人	受講生は熱心に取り組んでいたが、寒い時期の夜間は出かけるのが難しいという声があった。	受講者がより参加できるよう時期や時間などを見直す。	成人
2	メンズクッキング	講話や実習をとおして、「自分らしさ」への生き方を学ぶ。	市内在住の成人男性	実技7回 計7回	6月～H25年1月	110人	この講座をきっかけに家族のために料理を作るようになり、食べてもらう喜び、作る喜びを感じ、料理の基本、カロリーなども知りたくなったという声があった。 11・12・1月がノロウイルス、インフルエンザの流行時期に重なり出席率が悪かった。	持ち物にマスクを加え、手洗いなどの励行に努める。	成人
3	ライフアップセミナー in かみかわち	多様化、高度化した学習要求に対応し、現代的課題や一般教養について学ぶ。	市内在住の一般成人	講義6回 体験1回 実技1回 計8回	10月～H25年2月	275人	運営委員制度(企画・立案・実施)を設け、老若男女が参加しやすい内容を取り入れている。まだまだ支援を要することが多い。	自主的に運営できるようテーマごとに担当制などを取り入れる。	成人
4	傾聴講座	地域のひととのふれあいを大切に、共に生きていくための工夫や知識を深める。	市内在住の一般成人	講義5回 計5回	6月～10月	56人	少人数でののしい雰囲気の中で講座が運営されたが、男性の参加者が少なかった。	男性も気軽に参加できるプログラムなどを取り入れる。	成人
5	子育て広場	子育て中の親子が集まり、情報交換やレクリエーションを通して交流を深めるとともに、子育てできる場所を提供する。	市内在住の1歳から未就園児とその保護者	実技7回 計7回	6月～H25年1月	74組・153人	各回とも、保健センター保健師の講話の時間(15分)を設け実施したが、子どもが我慢できず騒ぎ出すことがしばしば見受けられた。	保健センター保健師の講話(15分)を毎回でなく、回数を決め実施し、各回講座の主テーマ時間を確保する。	子育て
6	市民運営講座	生涯学習コーディネーターの企画から運営全般を担うことの出来る人材を育て、企画運営を行う。	一般成人	講義1回 計1回	11月	58人	コーディネーター主になり実施しているが、開催回数や運営方法を考慮した場合にもう少しコーディネーターの確保が必要である。	市の実施するコーディネーター養成講座修了者による積極的な企画・運営になるよう支援する。	成人
7	ほほえみ塾出前講座	地域内住民の学習ニーズに応え、自治会の公民館等を会場に出前講座を実施し、生きがいづくりや仲間づくりを図る。	上河内地域内在住の一般成人	講義1回 計1回	H25年1月	25人	地域に関する身近な内容を取り入れたことから、興味深く聞き入っていた。新たに学習機会を提供する地区を発掘する必要がある。	地区単位の集まりなどを活用して講座を開催する。	成人
8	親子チャレンジ教室	親子でのいろいろな共通体験を通して共に学ぶことで、豊かな人間性を培う。受講生間のコミュニケーションも図り、家庭教育向上に努める。	市内在住の小学校1～6年生とその保護者	実技2回 講義1回 計3回	10月～H25年2月	14組・29人	参加人数少なく人員確保ができなかったため、実施できないケースがあった。	親子でのコミュニケーションを図りながら、共に取り組めることを意識したテーマなどを提供する。	子育て

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

河内生涯学習センター

順番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
1	親子チャレンジ教室Ⅰ	親子参加型の遊びやスポーツなど様々な体験をとおして、親子の絆を深め、参加者相互の意見交換等により、家庭教育のあり方を学ぶ。	市内在住の小学1～3年生の児童とその保護者	講義・実技2回 講義・体験1回 体験1回 講義・ワークショップ(保護者)、講義・実技(児童)1回 計5回	5月～9月	97組・201人	学校教育機関等で実施する事業と日程等が重複しないように調整する。／学習内容が分かりやすく、かつ抵抗感の無いタイトルを付ける。	学校機関等に土曜日開催する行事の日程を確認した。学習内容が分かり、かつ初めての方でも参加するのに抵抗が無いタイトルを付けた。	子育て
2	親子チャレンジ教室Ⅱ	親子参加型の遊びやスポーツなど様々な体験をとおして、親子の絆を深め、参加者相互の意見交換等により、家庭教育のあり方を学ぶ。	市内在住の小学1～3年生の児童とその保護者	講義・ワークショップ(保護者)、講義・実技(児童)1回 講義・実習・レクリエーション1回 実技2回 レクリエーション1回 計5回	10月～H25年2月	98組・206人	学校教育機関等で実施する事業と日程等が重複しないように調整する。／学習内容が分かりやすく、かつ抵抗感の無いタイトルを付ける。	学校機関等に土曜日開催する行事の日程を確認した。学習内容が分かり、かつ初めての方でも参加するのに抵抗が無いタイトルを付けた。	子育て
3	子育て広場	幼児の大切な時期に親子のスキンシップをはかると共に、子育ての学習やレクリエーションをとおして、親同士・子同士の交流の場を提供しながら子育ての支援をする。	就学前の乳幼児とその保護者	実技・レクリエーション4回 実技2回 レクリエーション2回 講義・体験1回 計9回	4月～H25年1月	238組・503人	これまでの実績を踏まえ、幼稚園等の行事と重なる可能性が高い期日を避けて日程を組む。年度を通して周知活動を行う。	これまでの実績を踏まえ、開催日を設定した。広報やチラシ等を活用し、継続的な周知活動を行った。	子育て
4	ワクワク子育て講座	子育てに関する基礎知識を習得するとともに、健康で心豊に育てるための食育について学習する。	就学前の子どもを持つ親	講義2回 実技4回 計6回	6月～12月	103人	クッキング実践講座は出席率はよかったが、講話は出席率が低かった。	食育への関心が高く、それに関する実技(実践)講座を多く取り入れて内容充実させる。	子育て
5	ふれあい学級	受講生がお互いに連帯感を深め、励ましあい学びあって生き甲斐のある人生を送れるようになることを願い、学級活動をを進める。計画・立案に当たっては、次の点を柱にする。☆視野を広げる。☆親睦を深める。☆趣味・教養を深める。	高齢者60歳以上	講義5回 講義・実習2回 講義・体験3回 計10回	6月～H25年2月	603人	受講生の意識調査から、楽しさ・愉快を感じる講座を繰り返し希望するが傾向見られる。視野を広げる意味で、新分野の講座の検討を要する。	自己理解を深め、日常の生き方を考えようとする目標設定の方策を示し、実践に結びつける。(例、ことばや歴史を探訪し、自分史をつづる)	成人
6	かがやきセミナー	健康で豊かな生活をおくるため、社会における一般的な基礎知識を学ぶとともに、郷土の歴史を探索し、郷土愛を深め、講座をとおして趣味の拡大を図りながら仲間づくりをすすめる。	一般成人	講義6回 実技3回 体験1回 計10回	6月～H25年2月	339人	男性の参加が少なく、講座内容によって参加人数にばらつきがあった。	年間のメインテーマを設けて講座を組み立てることや男女共通のプログラムを再考する必要がある。	成人
7	新春講演会	知識・文化人の公演を聴講し、夢と希望をももって心豊で幸せな生活をおくれるようにする。	かがやきセミナー・ふれあい学級受講生及び一般市民	講義1回 計1回	H25年1月	93人	一般市民の参加が予定より少なかった。	開催周知期間が十分になかったことや項目内容が多少専門的過ぎた。	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

河内生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
8	パソコン入門講座	パソコンの基操作や文書の作成などを習得し、社会活動や仕事に活用する市民の増加。	宇都宮市内在住の方	講義・実技10回 計10回	9月～11月	172人	パソコンがXPと旧式である。	特になし	成人
9	美と健康きらめき講座Ⅰ	自身の健康・生活・マナーなど、様々な分野で女性が素敵に輝ける知識・教養を実体験を交えながら習得する。	一般成人女性	講義・実技2回 計2回	6月～7月	35人	講師謝金等の予算の関係で実施回数が2回と少なく、学習内容を習得するには少々中途半端に感じられた。	統一テーマで事業を実施することでより学習効果が得られるよう、ある程度の回数を実施できるようにしたい。	成人
10	美と健康きらめき講座Ⅱ	自身の健康・生活・言葉・マナーなど、さまざまな分野で女性が素敵に輝ける知識・教養を実体験を交えながら習得する。	一般成人女性	講義・実技3回 計3回	9月～10月	46人	前年度同様、「美と健康は食事から」をテーマに、さまざまな効果があるとされるハーブを使った料理をメインに実施計画を立てたが、アピール不足、または、地域の行事と日程が重なったためか、申込者が18名と定員を大きく下回った。	受講生からは大変有意義であったとの評価を得ていることから、講座の企画をする段階で地域との連携を図るとともに、チラシの作成や広報等、アピールの方法も改善していきたい。	成人
11	男の料理入門講座Ⅰ	本講座で健康を維持して行く家庭料理を習得し、料理を通じて家族団らんのもてる料理に関心を持つ男性の増加。	宇都宮市内在住の男性	実技3回 計3回	6月	56人	男の料理入門講座については、数年間、継続して実施してきたが説明会から第1回目の開催の間にキャンセルする者が多い。交流の場として、期間が短い。	男の料理入門講座を通じて更なる交流が進むよう2期にわけて実施していた講座を1つまとめる。キャンセル待ちを設ける。	成人
12	男の料理入門講座Ⅱ	本講座で健康を維持して行く家庭料理を習得し、料理を通じて家庭だんらんのもてる料理に関心を持つ男性の増加。	宇都宮市内在住の男性	実技4回 計4回	H25年1月～2月	77人	説明会から第1回講座までの間にキャンセルするものが多い。回数が少ないため交流が十分でない。	キャンセル待ちを設定する。また、2期に分けて実施していた講座をひとつの講座にまとめ、交流の機会を設ける。	成人
13	市民運営講座「こころの体操講座Ⅰ」	家庭内の整理・整頓で、快適な生活を実感し、物の大切さと清々しい心を再発見する。	市内在住在勤の20歳以上の 人	講義・話し合い1回 講義2回 計3回	6月～8月	117人	・こころの体操講座は定着してきている。生活における実践そのものの中から、心の置きどころを見つけ、明るい毎日を送れるよう、ジャンルを拡げて企画していく必要がある。前年度は男性受講者が0人だったが、今回は3人の受講があった。(コーディネーター) ・定着した講座となっており、好評を得ている。2人のコーディネーターで企画運営しているが負担も多いため、人材確保が必要である。(センター担当)	・テーマに対して、適切な講師を探す必要がある。(コーディネーター) ・人材確保のため、センター主催講座受講生やセンター利用者等へのPRを強化する。(センター担当)	成人
14	市民運営講座「こころの体操講座Ⅱ」	日本人の伝統的精神を培ってきた「論語」の教えを紐解き、日々の生活における心の持ちようを行い再確認する。	市内在住在勤の20歳以上の 人	講義・実技2回 計2回	10月～11月	63人	・男性の参加も多く、受講生の居住範囲も広がった。地域重視ではあるが、広報の活用は全市に広がっており、より多くの受講者が参加できる企画を継続したい。(コーディネーター) ・定着した講座となっており、好評を得ている。2人のコーディネーターで企画運営しているが負担も多いため、人材確保が必要である。(センター担当)	・物質重視の風潮の中で、心の糧を求める人が増えている。論語だけでなく、日本の素晴らしい先賢達の学びへと広げ、日々の生活での実践につながるような講座を目指したい。(コーディネーター) ・人材確保のため、センター主催講座受講生やセンター利用者等へのPRを強化する。(センター担当)	成人

平成24年度 生涯学習センター事業実施報告

河内生涯学習センター

連番	事業名	学習目標	対象	学習方法・回数	実施時期	参加者数	課題・問題点	改善点	備考
15	市民運営講座「こころの体操講座Ⅲ」	1年の終わりに、笑いヨガをとおして心を軽くする。	市内在住在勤の20歳以上の人	講義・実技1回 計1回	12月	46人	・「こころの体操」講座が周知されてきた事と、男性の興味がある講座を企画した事で改善されてきた。受講生がいろいろ講座を掛け持ちなので、新たな受講生を発掘するために斬新な発想が必要。(コーディネーター) ・定着した講座となっており、好評を得ている。2人のコーディネーターで企画運営しているが負担も多いため、人材確保が必要である。(センター担当)	・受講生が受け身にばかりになるのではなく、主催者となるような企画を立案する。(コーディネーター) ・人材確保のため、センター主催講座受講生やセンター利用者等へのPRを強化する。(センター担当)	成人
16	託児ボランティア研修	ボランティア活動の意欲向上及び参加者同士の理解と親睦を図る。	託児ボランティア登録者及び一般	実技1回 計1回	H25年2月	7人	参加者からの希望を取り入れた内容の研修であったにもかかわらず、参加者は少なかった。	参加者からの声を精査し、より魅力ある研修テーマを設定する必要がある。	成人
17	少年少女のオモシロ夏休み	「夢を持って活動できる子ども」を目指し、創造的な創作活動を行う。 ～ 広げよう 見る目 目指そうものづくり ～	小学校高学年児童(小学4年生～6年生)	実技4回 計4回	8月	70人	各小学校や指導者など、関係諸団体等の連絡調整が重要である。	①年度初めに各小学校の年間行事予定表をいただき、②指導者の都合を聞き、調整の上、決定する。	青少年
18	子ども国際理解教室	外国人とゲームやおやつづくりなどの触れ合いをとおして、世界の国々の文化や生活の違いを理解すること	小学校高学年(小学4～6年生)	講義・実技1回 講義1回 実技4回 計6回	7月	105人	内容理解において学年差が、交流活動において生活経験差が大きいことを考慮して班決定をして、自己の意見をまとめ・発表につなげられるプログラムが望まれる。	4日間連続で実施したが、内容理解不十分な面が多く、自己の意見をまとめ・発表余裕がなかった。日程・内容の検討をしていく。	青少年

## 平成24年度 学習相談利用状況

### ◆平成24年度学習相談件数（平成24年4月～平成25年3月）

・来館による相談	330件	
・電話による相談	172件	
・ファックスによる相談	0件	
・Eメールによる相談	4件	
・その他による相談	1件	計507件・・・①
・簡易問い合わせ件数	1,016件・・・②	
総件数（①+②）	1,523件	

### ◆平成23年度学習相談件数（平成23年4月～平成24年3月）

・来館による相談	400件	
・電話による相談	244件	
・ファックスによる相談	1件	
・Eメールによる相談	6件	
・その他による相談	1件	計652件・・・①
・簡易問い合わせ件数	1,309件・・・②	
総件数（①+②）	1,961件	

### ■学習相談件数

相談方法	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	奈川	雀宮	宇文	計
面接(窓口)	6	19	80	10	21	40	14	18	10	0	0	28	27	0	13	0	0	1	19	24	330
電話	34	12	14	2	12	25	5	13	0	0	0	6	0	0	1	0	0	2	1	45	172
FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Eメール	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	43	32	95	12	33	65	19	31	10	0	0	34	27	0	14	0	0	3	20	69	507

相談種類	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	奈川	雀宮	宇文	計
施設	2	0	8	5	1	3	4	1	9	0	0	3	0	0	12	0	0	1	0	1	50
講座	14	0	21	0	0	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	57	113
団体	13	31	62	3	32	55	9	29	10	0	0	31	27	0	3	0	0	2	14	10	331
講師	8	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	18
地域活動	2	0	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
その他	7	0	7	4	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	29
合計	46	33	101	12	33	68	24	32	19	0	0	37	27	0	15	0	0	3	22	78	550

相談者(性別)	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	奈川	雀宮	宇文	計
男性	17	6	26	2	7	13	4	17	4	0	0	6	3	0	6	0	0	1	6	23	141
女性	26	25	72	10	26	52	16	14	6	0	0	28	24	0	8	0	0	2	14	46	369
合計	43	31	98	12	33	65	20	31	10	0	0	34	27	0	14	0	0	3	20	69	510

相談者(年代)	人材	中央	東	西	南	北	上河内	河内	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	城山	富屋	篠井	奈川	雀宮	宇文	計
70代以上	5	1	30	0	1	6	4	8	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	10	10	79
60代	15	11	30	3	24	27	9	14	4	0	0	8	20	0	4	0	0	1	10	18	198
50代	6	8	9	0	4	11	2	0	1	0	0	15	4	0	3	0	0	1	0	15	79
30～40代	14	7	17	9	4	15	2	7	3	0	0	8	2	0	4	0	0	0	0	23	115
20代	3	4	12	0	0	6	3	2	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	3	39
10代以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	31	98	12	33	65	20	31	10	0	0	34	27	0	14	0	0	3	20	69	510

簡易問い合わせ	43	54	30	163	113	3	6	429	4	62	4	34	23	0	0	0	0	3	19	26	1,016
総件数	86	85	128	175	146	68	26	460	14	62	4	68	50	0	14	0	0	6	39	95	1,523